

第2回 大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（中学校）第4地区部会 会議録

1 日 時 令和2年7月20日（月）13:00～17:00

2 会 場 大阪市教育センター 講義室

3 出席者

（委員）

高田委員、藤田委員、新井委員、塩屋委員、山西委員、原委員、盛岡委員

（事務局）

青山総括指導主事、吉沢総括指導主事

4 議 題

(1) 各調査会の報告及び質疑

5 会議録

【事務局】

定刻まで少し時間がございますが、皆さまお揃いでいらっしゃいますので、会議を始めたいと思います。では、地区部会長、よろしくお願いいたします。

【部会長】

ただいまより第2回選定委員会、第4地区部会を始めたいと思います。

皆さま方におかれましてはお忙しい中、また大変暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。6月2日に第1回の選定委員会を持たせていただきまして、それ以降、各調査会、学校調査会並びに専門調査会で調査研究を行っていただきました。

お手元の資料にその調査結果が記載されております。たくさんの教員が何時間にも渡りまして調査研究をしたものでございます。本日は調査結果を報告いただきまして、その後、質疑応答、答申資料作成に向けて検討してまいりたいと思っております。長時間の会議となりますが、慎重なご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、次第に沿って進めてまいりたいと思います。

まずは、会の成立について、大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会規則第7条第1項及び第6条第3項に基づきまして、本地区部会に属する委員の過半数の出席がございますので、会の成立を宣言いたします。

なお、会則第7条第1項及び第6条第5項によりまして、会議は非公開で行います。

それでは、早速議事に入りたいと思います。

まず初めに、調査の経過につきまして、事務局の方から説明をお願いいたします。

【事務局】

失礼いたします。教育委員会事務局、指導部、教育活動支援担当、第4教育グループの吉沢でございます。調査の経過のご説明の前に、本日の配付物についてご説明させていただきます。

選定委員の皆さまの机の上に、前回6月2日の配付物を、封筒に入れて置かせていただいております。封筒に6

月2日という日付が書いてあるものをご確認ください。それとは別に本日新たに封筒をお配りしておりますので、その封筒の中をご確認いただけますでしょうか。本日の配付物につきましては、次第の裏面に一覧にまとめておりますので、順にご確認をお願いいたします。まず、「調査の観点（第4地区版）」、次に「学校調査会調査集約結果」、次に「《参考》学校調査会（代表的コメント一覧）」、次に「専門調査会調査結果」、そして「《参考》定量的調査資料」、こちらの資料につきましては、大阪府教育委員会設置の「大阪府教科用図書選定審議会」の答申に基づいて作成された「令和3年度使用教科用図書選定資料」の中から、各種目の【資料2】（学習指導要領に示されている各教科の目標等を踏まえ、各種目の特性に応じた教科用図書の特色が明らかになるよう客観的な数値データ等）のみを抜粋したものとなっております。本日のご審議の参考として準備させていただきました。次の配付資料は「教科書展示会アンケート集約資料（第1次）」でございます。その次に、「答申資料（案）」、こちらは案でございます。さらに質疑用メモとなっております。

配付資料は以上でございます。不足等はございませんでしょうか。

それでは、調査の経過についてご報告いたします。

前回、6月2日の第1回選定委員会以降、各調査会において調査研究が行われました。具体的に申し上げますと、6月5日に学校調査会と専門調査会の説明会を、この大阪市教育センターにて開催し、両調査会とも6月8日より本格的な調査に入りました。説明の際には前回の地区部会でご審議いただきました調査の観念の重点化につきまして、その経緯や考え方についても触れ、特に専門調査会においては、本日の報告資料の作成に関わって留意すべきことを説明させていただきました。

学校調査会につきましては、7月2日まで、各校にて見本本を回覧しながら調査研究が行われ、その結果が提出されました。学校によっては、兼務や休職等で一部の教科を担当する教員がいないことから、調査できない種目もございましたが、ほとんどの学校において全ての種目について調査が行われました。

また、社会科の歴史的分野において、「学び舎」という発行者がございますが、本市に配付されました見本本が非常に少なかったことから、各校への回覧分を確保することができませんでした。その結果、近隣の教科書展示会にて閲覧していただくようお願いをしたところですが、臨時休業期間から学校再開の時期と重なったこともございまして、多くの学校で当該教科書の調査研究ができておりません。

なお、各校から提出された学校調査結果を集約し、7月6日に専門調査会に情報提供いたしました。

一方、専門調査会は14の調査会を設置し、6月8日から複数回、担当する種目の調査研究を行い、最終的に学校調査結果を加味したうえで、調査結果が取りまとめられました。本日、この後、代表調査員の校長先生方や教頭先生方から報告をいただくこととなっております。また、市内31か所の教科書センターにおいて、教科書展示会が開催されております。その展示会にて、学校協議会委員、保護者、市民の皆さまからのアンケートを回収しております。7月3日現在のアンケート回収総数は602通となっております。集約結果につきましては、別紙のとおり簡単ではございますが、まとめさせていただいております。集まったアンケート用紙の写しにつきましては、私の方から向かって右側のグレーのファイル、こちらにまとめさせていただいておりますので、また後ほどご覧いただきますよう、お願いいたします。

調査の経過についての説明は以上でございます。

続きまして、本日の予定についてご説明させていただきます。

本日は各調査委員会が行った調査結果について報告を受け、それを基に選定委員会の第4地区部会として答申資料の作成に向けてご審議をいただくこととなっております。また、本日は全種目ということで、教科書の冊数も大変多くなっております。種目ごとに説明させていただく際に、教科書見本本をお机に置かせていただきますので、ご自由にご覧いただけたらと思います。なお、本日ご用意できた見本本のセットが4セットとなりまして、1人1セットとはまいりませんが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。また、質疑用メモ

用紙も準備させていただきましたので、お気付きの点や時間内に出せなかった質問等がございましたら、ご記入いただき、後ほど共有させていただきましたら、次回の選定委員会にてお返しさせていただくとともに、答申資料原案に反映させていきたいと考えております。何分限られた時間で多くのことをご審議いただくこととなります。恐れ入りますがご理解とご協力をお願いいたします。
私からの説明は以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。
ただいまの報告につきまして何かご質問等がございますでしょうか。

【委員】

先ほどのアンケートに関しては、第4ブロックでの数ということでよろしいですか。

【事務局】

教科書センターのアンケートについては教科書センター全て、全市における結果になります。

【部会長】

他にはよろしいでしょうか。
では、各調査会の報告に入ってまいりたいと思います。
まず学校調査会の報告について、事務局からお願いいたします。

【事務局】

学校調査会の報告をさせていただきます。
お手元の資料、「調査の観点（第4地区版）」と、「学校調査会調査集約結果」をご覧くださいませでしょうか。
学校調査会は各校に設置し、見本本を学校間にてリレー形式で回覧しながら、各校で調査研究をしていただきました。
その調査研究結果を、各校でデータ入力していただき、事務局にて集約いたしましたのが、お手元でございます「学校調査会調査集約結果」と題した冊子になります。
中をめくっていただきますと、1ページに国語、2ページに書写等、各種目1ページずつ、集計した結果を一覧表にまとめております。
一覧表の見方としましては、国語を例にしますと、縦軸に各観点、横軸に発行者となっており、同じ発行者の中でも左側が「特に優れている」、右側が「工夫・配慮を要する」を選択された学校数を示しております。特に観点文言が網かけになっているところ、こちらが4ブロックの重点化した観点になります。
また、一覧表の下部分には、「全観点」、「重点化した観点」、「項目ごと」の学校数の合計が集計されてございます。学校調査に際しては、各校で見本本と調査の観点の各観点を照らし合わせて、「特に優れている」や「工夫・配慮を要する」について選んでいただいております。その際、「特に優れている」「工夫・配慮を要する」のいずれについても、調査の観点の各項目、大阪市教育振興基本計画に関するものと、内容に関するものと、その他に関するもの、この3項目の各項目内で最大2観点まで選択できるという条件を設定させていただきました。
1ページの国語を例に具体的に申し上げますと、項目1に「大阪市教育振興基本計画との関連」に係る項目が

5つございます。4ブロックの重点は③ですので、③に網かけがされております。この5つの観点について「特に優れている」か、または「工夫・配慮を要する」かを各校に選んでいただきました。「優れている」「工夫・配慮を要する」の項目について、最大2観点まで選択できますので、項目1で言いますと、1校につき最大4観点まで選択できるということになります。ただし、必ず4観点を選ばなければならない、というわけではございません。1つの項目で1観点のみを選択する学校もあるということですので、ご注意をお願いいたします。この資料の数字を見比べていただくことで、学校調査における優位性の有無を見取っていただけるかと存じます。

ご注意いただきたいことがもう1点ございます。4ページの歴史の調査結果をご覧ください。

こちらは発行者7者の中でも、一番右にあります「学び舎」の数字が他者と比べて少ないことに気付かれると思います。こちらは先ほども申しあげましたが、この「学び舎」の見本本について本市に割り当てられた冊数が非常に少なく、結果的に学校調査用に確保することができませんでしたので、各校への回覧ができておりません。

各校へは教科書センターでの教科書展示会にて閲覧が可能であることは案内しておりましたが、学校再開の時期と重なったこともあり、当ブロックでの調査実施校は9校となっていることをお含みいただいたうえで、他の発行者との比較をしていただければと存じます。

なお、教科書展示会の終わった教科書センターや調査を終了した専門調査会から当該見本本を一定数集めて、未調査校への回覧を現在行い、追加の調査研究をしていただいております。来週の第3回選定委員会では、その結果を反映させたものを改めてお示しさせていただきます。

また、別冊子の「《参考》学校調査会（代表的コメント一覧）」、こちらにはこの学校調査において、観点の調査とは別に、項目ごとにコメントを任意で入力していただいたものの中から一部を抜粋し、一覧としてまとめさせていただいたものでございます。あくまでも参考資料としてご覧いただければと思います。

この後、専門調査会の報告を受けていただきますが、その際に、こちらの学校調査会の集約結果もお手元に置いていただきまして、比較しながらお聞きいただければと存じます。

以上で、学校調査会の報告を終わらせていただきます。

【部会長】

学校調査会の報告に関わりまして、何かご質問等はございますでしょうか。

【委員】

見方について、今、例として説明いただいた国語のページでいきますと、各発行者によって「特に優れている」と「工夫・配慮を要する」とありますが、「特に優れている」あるいは「工夫・配慮を要する」は、例えば一番左だったら東京書籍となっていますが、東京書籍の内容を見たらうえて、他の発行者と比較して特に優れているというように、相対的に優れているのか、あるいはそれぞれの観点について、絶対評価的に調査しているのか、教えていただけますでしょうか。

【事務局】

学校へ指示しておりますのは、他者と比較して調査するよう指示しておりますので、相対的に調査している、という見方で見ていただけたらと思います。

【委員】

例えば①の観点がありますけれども、この観点において相対的に特に優れているか、または工夫を要するという評価がされているという見方をするということですか。

【事務局】

おっしゃるとおりでございます。

【部会長】

他にはいかがでしょうか。

それでは、続きまして、専門調査会の報告に移りたいと思います。

ここからは次第にありますように、10教科16種目について、各専門調査会の代表調査員を務めていただきました校長先生、あるいは教頭先生から説明をいただくこととしております。お手元にあります「専門調査会調査結果」の冊子と、「調査の観点」をご準備いただきますようお願いいたします。また先ほど事務局から説明があったように、「学校調査会調査集約結果」もご覧いただきながら進めたいと思います。見本本につきましても、冊数に限りがありますが、参考にご覧いただけたらと思っております。限られた時間ではありますが、この場で議論をしっかりと尽くして調査結果を審議していきたいと思っております。

代表調査員の皆さまには、重点化した観点を中心に報告いただくことをお願いしておりまして、報告書の中でも、そのことを反映しております総評欄を中心に説明いただくこととしております。

それでは、最初に国語についてですが、国語は書写と併せて審議したいと思います。まず国語を受けて、その後質疑、その後書写と移ってまいりたいと思います。

では、国語からお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。私は国語・書写の代表調査員を務めます、大阪市立田辺中学校、校長の平野です。

国語の調査結果の報告をさせていただきます。

まず東京書籍です。全体的に生徒の主体性を引き出す要素が多く取りあげられております。全学年において、各単元末の「てびき」において、自分の意見や考えを書く活動が設定されております。社会生活に必要な伝達力、思考力、創造力を育成する学習内容が分かりやすく記載されていることにおいて、他者と比べて特に優れているとしました。また、教材のバランスがうまく配置されているので、年間を通して指導しやすいことが優れています。一方で全体的に全学年を通して、学ぶことや目標を整理して提示されていないことについて、工夫を要する点とさせていただきます。

続きまして、三省堂です。全体的に主体的・対話的で深い学びの授業改善に資するよう配慮されており、特に優れております。特に各単元末の「学びの道しるべ」の活用が効果的です。また、各単元の前学習として読解の観点を学んでから当該単元を学習し、条件に応じた文章を書く学習過程となっていて、学びについて振り返り、習得・活用・探求できるよう工夫されている点が特に優れております。学習内容について、考えの違いを対話によって理解し合い、尊重しながら自分の考えを広げ、創造的な内容に拡充できるような学習活動が展開されている点も特に優れております。また、資料には、現代の社会生活で実践的に生かせる項目等、生徒が興味を持ち、学習意欲を引き出すような工夫がされております。1年生の話しことばと書きことば、2年生の上位語、下位語、3年生の和語、漢語、外来語等の言語活動の発展の面において少し分かりづらいところがありますが、これにつきましては別教材で補うことが可能であると考えます。

続きまして、教育出版です。各教材が「目標」、「問いかけ」、「振り返り」という流れで設定されており、生徒

が主体的・対話的な学習に取り組める工夫がされており、特に優れております。説明文では、論理の展開を捉え、考えを形成し、考えを共有する活動が取り扱われている点も優れております。また、全学年の「持続可能な未来を創るために」では、教科横断的に学習できる単元が配列されており、優れております。一方で、図書館活用や情報活用を取り扱っている箇所が少ない点を、特に工夫を要する点としてあげさせていただきました。光村図書に移ります。生徒の発達段階に応じた言語活動の例が順に掲載されており、生徒が興味を持ちながら授業に取り組めるように工夫されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資するようにも配慮されている点が特に優れております。各学年の「続けてみよう」では、取り組むことで、正確に理解し、適切に表現する力が育成できるようになっている点が優れています。また、2次元コードのある作品は、授業の導入や生徒の自主学習にも活用でき、優れています。一方で、詩の単元は叙情的な内容が多く、教材のバランスには特に配慮・工夫を要する、とさせていただきます。

以上で報告を終わります。

【部会長】

ありがとうございます。

では、専門調査会では、どの発行者に優位性が認められたかをお聞かせいただけますでしょうか。

【代表調査員】

専門調査会では、三省堂に最も優位性があると確認いたしました。特に「学びの道しるべ」の構成が非常に優位性が高く、活用しやすいものであると確認しました。その次に、東京書籍に優位性を確認しております。

【部会長】

ありがとうございます。

それでは、ご意見、ご質問をよろしくお願いたします。

【委員】

優位性の根拠で、使いやすさということをおっしゃいましたが、もう少しご説明をいただいてもよろしいでしょうか。

【代表調査員】

教員、生徒の両方にとって、活用しやすい、という意味で報告させていただきました。

三省堂の「学びの道しるべ」という構成が、思考の方法を展開するための手立てに非常に優れており、教員と生徒の両方にとって効果的である、ということです。

【委員】

「学びの道しるべ」のようなものは、他者にはなかったということですね。

【代表調査員】

他者にも同じようなものがありますが、他者と比較させていただきますと、三省堂の「学びの道しるべ」に優位性を確認したところです。

【委員】

教員にとっては、指導しやすいという観点で説明を伺ったのですが、子どもたちの立場から言うと、活用しやすい、というのは学びやすい、という理解で良いのでしょうか。

【代表調査員】

はい。そのとおりでございます。

【委員】

保護者の立場から申し上げます。教科書を一通り拝見いたしました。素人の私が見ましても、三省堂さんのめあてがすごく分かりやすいと思いました。子どもにとって、めあてが分かりやすいと、何のために勉強しているのかを意識しやすいでしょうし、そうすることで理解もより深まるのでは、と思いました。自分が子どもだったら、どう読み進めるだろうと思いながら見させていただくと、学びに向かう目的があって、その目的に向かって勉強しているということが、具体的で分かりやすく構成されている、という報告に賛同します。

あとは教科書がカラフルであるか、子どもが楽しく勉強するには色遣いも大事だと思います。教育出版社はあまりカラフルではないのですが、SDGsを取りあげており、時事的な問題を扱っているのがいいな、と思いました。三省堂さんと東京書籍さんはカラフルですね。

あとは紙面や教科書の材質についても、子どもの目に良いというか、明るい方が良いと思っておりまして、私は代表調査員の先生と同じく三省堂さんに最も優位性を感じました。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。

【委員】

三省堂の工夫・配慮を要する点で、その課題については別教材で対応できるという報告があったと思うのですが、その点について、もう少しご説明いただけますでしょうか。

【代表調査員】

教科書とは別の教材、という意味です。

【委員】

補助教材でもって補強すべきだということですか。

【代表調査員】

はい。

【委員】

それは大丈夫なのでしょうか。他の教科書は、別教材で対応するようなものはない、ということなのでしょうか。

【代表調査員】

三省堂の特徴について他者と比べた時に、工夫・配慮を要する点として、顕著であった特徴として報告させていただきました。「言語活動の頁に発展問題が少なく」という文言は、生徒の理解をより深めるためには工夫を要する、ということなのですが、この点につきましては、教員が補助プリントを作成する等、別教材といえども比較的容易に対応が可能です。

【委員】

他の発行者の教科書と比べると、言語活動の発展段階の部分が、別教材が必要なぐらい不足していたということなのでしょうか。

【代表調査員】

いえ、ページ数が少なかった、ということです。

【部会長】

他にはいかがでしょうか。

【委員】

三省堂における優位性の最大のポイントは、「学びの道しるべ」の親切さという部分ですか。

【代表調査員】

そのとおりでございます。

【委員】

確かに、教員の立場からすると、このポイントに沿って、授業を展開すれば良いということで親切だと思いますが、逆に、生徒の立場からすると、これに拘束されてしまうという面もあるように思うのですが、いかがでしょうか。生徒が韻文等を豊かに味わおう、あるいは問題意識を深めようという時に、こういうものに制限されない方が良いでしょう。教科書の最初が詩になっていますが、詩を読むのにこんな風に枠にはめられたくないな、と個人的には思います。

【代表調査員】

確かにご指摘いただいたことについて、そのような側面もあると思います。この「学びの道しるべ」については、主体的・対話的な学びの授業改善に資する配慮という点において、優位性を報告させていただいたところでございます。

【部会長】

他にはよろしいでしょうか。

では、次に参ります。書写の報告をお願いいたします。

【代表調査員】

引き続き失礼いたします。書写について報告させていただきます。

まず東京書籍です。単元の学習課程が、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、の流れがはっきり示されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されており、特に優れています。また、毛筆を使用する単元では、まず硬筆でポイントとなる「書写のかぎ」を見つけ、次に毛筆で確かめ、最後に同じねらいの他の文字を硬筆で書くことで定着を図るよう展開が工夫されており、優れています。次に、活用単元「生活に広げよう」で、身近な場面を取りあげ、また、「文字のいずみ」や巻末の「書写ブック」では、生徒の興味や学習意欲を引き出す工夫がされており、優れています。一方で、振り返りが言葉で記述できるような学習内容に則した資料が少なく、配慮を要するところがございます。

続きまして、三省堂です。文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことの必要性について考えるための工夫が見られ、三省堂発行の国語の教科書の内容と関連性を持たせた配慮は、生徒が主体的に学ぶことができる点において、特に優れております。また、毛筆で学んだことを硬筆に生かせるよう配列が工夫されている点においても特に優れております。さらに資料編においては、日常において身につけておくべき内容が学べるようになっており、特に優れております。

次に、教育出版です。「学校生活に生かして書く」で、効果的なポップや帯を作成したり、ポスター等日常生活や学習活動に役立つ活動が取り入れられたりしており、特に優れています。また、「まとめ書きと応用」で、毛筆を学習した後に硬筆で書き、書写の能力の基礎を養うよう配慮されており、特に優れております。一方で、資料が多く、内容は充実していますが、自ら調べる等主体的な学習意欲を引き出すためには、特に工夫を要するところがございます。

最後は光村図書です。「学習の進め方」で、見通しをもって学習に取り組ませています。「考えよう」で課題について話し合い、「確かめよう」で実際に筆で書き、「生かそう」で硬筆で書く構成に、授業改善の工夫がされており、特に優れております。行書の導入で「速さを比べてみよう」を設けて、硬筆で実際に速く書いて、行書の特徴を学ぶようになっており、特に優れております。一方で、「楷書と行書の使い分け」で相手と目的を考えて選んで書くことができるように配慮されているのですが、キャラクターのイラストの色遣いが単色で、違いが分かりにくいところがあり、工夫を要するところがございます。

以上です。

【部会長】

ありがとうございます。

それでは、優位性の認められた発行者について、報告をお願いできますでしょうか。

【代表調査員】

最も優位性が高かったのは三省堂です。次いで、光村図書に優位性を確認いたしました。

【部会長】

ご意見等をお願いいたします。

【委員】

優位性の順位について理由を教えてください。

【代表調査員】

まず三省堂については、国語の教科書との関連性、それから毛筆で学んだことを硬筆に生かせるような配列、また、日常生活とのつながりについて、他者と比較したうえで、生徒にとって分かりやすく、三省堂に優位性がございました。

【委員】

国語の教科書との関連性について、もう少し具体的に説明していただけますか。

【代表調査員】

いくつか国語で扱われる題材が入っていきまして、例えば、1年生で「朝のリレー」という題材が楷書の教材となっております。

【委員】

他者においては、そのような教材の取りあげ方はなかったということですか。

【代表調査員】

はい。

【委員】

となりますと、考え方としては書写と国語は対で考えようということですかね。もし国語の教科書が三省堂ではない他者に優位性があるようだったら論理的には意味がなくなるわけですね。

【委員】

具体的に言うと国語と書写というのは、必ず同一発行者が望ましいということですか。

【代表調査員】

それは違います。

【委員】

書写は書写、国語は国語で独立して、子どもが学びやすい、または先生方が指導、支援しやすいという観点で選ぶべきなのでしょうか。

【代表調査員】

おっしゃるとおりです。ちなみに現在大阪市で使っている教科書は、国語は三省堂、書写は教育出版となっております。

【委員】

保護者の立場から申し上げます。私が見やすいと思ったのは三省堂さんで、見て分かりやすいという点では突出していたように感じました。私が拝見しましても発行者間の差を見出すことが難しかったので、調査においては、すごくご苦労されたと思います。あとは実際の半紙の大きさを示してくれているという教科書が、三省堂さんと教育出版さんですね。光村図書さんも一部にその特徴はあります。実際の半紙の大きさを示していた

だけると、余白のバランスというのが分かりやすいと思います。子どもの中には、文字を書くことが苦手な子もいますし、半紙からはみ出して書いてしまう子もいますし、毛筆で書く時に、教科書を横に置いて、実際の大きさと見て書けるという意味ではすごく良いと、私は思いました。

【代表調査員】

ありがとうございます。同じ意見が実際に調査会で出ておりました。

【部会長】

他にはいかがでしょうか。

【委員】

国語の教科書との関連性を第一の優先順位の根拠とするには、何か説得力に欠ける気がするのですが。

【代表調査員】

先ほどの報告で、三省堂の優位性について3点を報告させていただきました。国語の教科書との関連性、それから毛筆で学んだことを硬筆に生かせるような配列、及び日常生活とのつながりについて、この特徴の順番に軽重はございません。この3点に優位性が見られたということです。

【委員】

他者にはそれがなかったわけですか。

【代表調査員】

相対的にみて、他者よりも優位性が高かった、ということです。

【部会長】

他に、ご意見はいかがでしょうか。

では、国語と書写は終わりたいと思います。ありがとうございました。

【委員】

質問ですが、答申として、最終的にどのような形になるのでしょうか。

【部会長】

この場での議論をもとに事務局で答申の案をまとめて、来週提案させていただくという流れになります。

【委員】

意見として申しあげます。国語においては、三省堂に優位性があった、という報告があり、我々も内容について、良いのではないかと申しあげましたが、例えば光村図書の最初、扉にある思考の枠組みのようなものを今拝見すると、良いところを見取ることができますし、東京書籍の工夫・配慮を要する点として、読み物が多いと調査結果にまとめられていますが、逆に言えば、読む教材が豊富にあるという優位性になるのでは、と思います。その辺はもしかしたら、読解力を強化したいと思っている指導者にとっては、むしろそちらの方が適切

かもしれないという気がしました。

【代表調査員】

そうですね。この4ブロックでは、主体的・対話的で深い学びの実現を重点に置く、ということでしたので、専門調査会としては、その点を重視して調査をさせていただきました。

【部会長】

ありがとうございます。

では、国語・書写を終わります。ありがとうございました。

続きまして、社会科に移ります。地理と地図については、一括して進めたいと思います。

では、よろしく願いいたします。

【代表調査員】

地理と地図の代表調査員を務めます、大阪市立東生野中学校、教頭の上木です。よろしく願いいたします。地理と地図の発行者は地理が4者、地図が2者となっております。それでは、順に報告させていただきます。まずは地理、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は、項目1の③、優れている点が項目2の①、⑥、項目3の⑥、⑧といたしました。また、工夫・配慮を要する点につきましては、項目3の⑤といたしました。中でも項目1の③に特徴がございます。各章のまとめ部分は生徒自らがその単元をまとめやすいように作られており、また、まとめ作業を行っている過程においても、さらに問題の追究が行える構成になっております。これらが協働的な学習へ導きやすい構成となっております。

続きまして、教育出版社に移ります。報告書を1ページおめくりください。この発行者の特に優れている点につきましては、項目3の⑥、優れている点が項目1の③、項目2の⑥といたしました。工夫・配慮を要する点につきましては、項目2の①、項目3の⑤、⑧といたしました。この発行者につきましては、中でも項目3の⑥に特徴が見られます。各章末の「学習のまとめと表現」は、学習内容の確認や、単元の振り返りが各自でできるように構成されており、生徒自身が復習に活かせる構成になっており、自学自習の教材として適しています。

続きまして、帝国書院について報告させていただきます。報告書を1ページおめくりください。この発行者の特に優れている点につきましては、項目1の③、優れている点が項目2の①、⑥、項目3の⑤、⑥、⑧といたしました。中でも項目1の③に特徴が見られます。各章毎や節、または1時間毎の学習課題が示されており、学習課題の問いに対して、自らの意見を考察し、表現できるような箇所が随所に見られ、生徒を深い学びへ導く構成となっております。

最後に、日本文教出版社になります。報告書を1ページおめくりください。この発行者の特に優れている点はありませんでした。優れている点につきましては、項目1の③、項目2の⑥、項目3の⑤、⑥、⑧といたしました。また、工夫・配慮を要する点につきましては、項目2の①といたしました。この発行者につきましては、項目3の⑤に特徴が見られます。見開きのページの学習について、他分野との関わりがある場合は、見開きの左ページ下部に連携コーナーがあり、歴史や公民とのつながりが示されており、分野を関連させて指導することができます。

以上が、地理的分野の4者になります。

引き続きまして、地図に移らせていただきます。地図については2者になります。

まず、東京書籍についてです。報告書の27ページをご覧ください。この発行者の特に優れている点はございま

せんでした。優れている点につきましては、項目2の⑦、項目3の⑤、⑧といたしました。また、工夫・配慮を要する点につきましては、項目3の⑥、特に工夫・配慮を要する点が項目1の③といたしました。この発行者の特徴といたしましては、項目3の⑤に特徴が見られます。歴史や公民の学習に役立つ資料には、「歴」・「公」のアイコンマークがついており、関連している分野が分かりやすくなっており、効果的な指導を行うことができます。

それでは、最後に帝国書院についてです。報告書を1ページおめくりください。この発行者の特に優れている点につきましては、項目3の⑥、優れている点が項目1の③、項目2の⑦、項目3の⑤、⑧といたしました。この発行者の特徴につきましては、項目3の⑥に特徴が見られます。随所に設けられた地図活用の中には、地図や資料を使いながら見開き1ページの内容を要点で復習できるようになっており、自学自習の教材として適しています。

以上、地理と地図の報告でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

では、地理と地図とそれぞれ専門調査会で優位性が確認された発行者についてお願いしたいと思います。まずは地理からお願いいたします。

【代表調査員】

地理につきましては、相対的に見ますと帝国書院、次いで東京書籍に優位性を確認いたしました。

【部会長】

地図はいかがでしょう。

【代表調査員】

地図につきましても、帝国書院に優位性を確認いたしました。

【部会長】

では、ご意見をお願いいたします。

【委員】

帝国書院さんについて、工夫や配慮を要するところが全く書かれていません。ということは、ほぼ満点だったということですか。

【代表調査員】

満点という表現が適切かどうかは判断しかねますが、総合的に見ると帝国書院は地図も作っておりまして、地図分野との関連について、私どもから見ると、手堅く作成されている教科書となっております。随所を調査しますと、幅広い学力層の生徒がバランス良く使えるような内容構成になっているという印象を受けました。

【委員】

帝国書院の優位性について、根拠を説明していただけますか。

【代表調査員】

先ほど優れている点及び特に優れている点についてご報告させていただきましたが、それ以外にもいくつかありまして、例えば教科書を開いていただきましたら、帝国書院の56ページと57ページをご覧ください。そこに「最も近い隣国、韓国」という単元があります。本校の場合ですと、在日の子どもたちがたくさん在籍し、韓国は非常に身近に感じられるという状況があるのですが、帝国書院以外の教科書につきましては、あまり扱われていない、あるいは全く扱われていないものもあります。このページを例にあげますと、この単元を歴史の学習にもつなげることができます。子どもたちが身近に感じられる題材を扱っている、というところにも優位性があると考えます。また、他にも工夫されている点がありまして、地理の調査の観点、項目3の②に当たるんですけども、教科書の64ページ、65ページをご覧ください。このページは、アジアの章のまとめのページとなっています。左の64ページの右下には「キーワード」がありまして、この章で覚えておいてほしい重要な語句が整理して記されており、左側は文章を読んで考えるようになっています。そして65ページの②をご覧ください。「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」ということで、思考力・判断力・表現力を身に付ける、自分で表を作る等してまとめていくというような例がそこに載っていますが、この字体を見ていただきますと、教科書体ではなくて手書きのような字体で書かれています。子どもたちが具体的なイメージを持ちやすくするような工夫がされていて、他の教科書ではこのような工夫は見当たらず、この点においても子どもたちにとっては身近に感じられるものではないかと思われまます。

【委員】

相対的に1位にした要素としては、韓国との関わりが出ているということと、また先ほど説明いただいた、考え方、思考の整理のところで手書きのような字体になっている、この2点が1位にした理由ですか。

【代表調査員】

他にもあります。私ども専門調査会の調査に加えて、学校調査会の結果を見てみますと、帝国書院に優位性があると、現場の先生方も考えられているという結果が出ています。

【委員】

今初めて知りましたが、東京書籍と帝国書院と、発行者が違うと、同じ単元、例えばアジアについても内容は全く違うんですね。

【代表調査員】

左様でございます。

【委員】

違っていても支障はないのでしょうか。

【代表調査員】

学習指導要領に基づいて作られ、検定も通っていますので、その点につきましては、支障はございません。教科書の内容を教員がどう補足し、発展させるか、教員の腕の見せどころということになります。

【委員】

確かにおっしゃるように帝国書院の方が日本により身近というか、特に大阪であれば親しみやすいということについては間違いないと思いますが、東京書籍の方には広がりがあるように感じます。先生がどれだけ腕を見せられるかということが、こちらには問われるのでは、と感じましたね。私も、分かりやすいのは帝国書院だと思います。

【委員】

東京書籍の方が、世界的な視野につなぐ、という点においては特徴的な感じがしましたね。その点が帝国書院の方には、少ないような感じを受けました。

【代表調査員】

社会科の場合は、資料集も使いますので、その点については資料集等で補足をすれば、十分カバーできると思います。

【委員】

子どもたちに教えるときにどれだけ身近に感じるかということは大切だと思います。その点で、帝国書院は、より大阪を身近に感じさせる特徴があり、学習を通じてさらに広げていくことができると思います。私も帝国書院が子どもたちにとっては取り組みやすいというか、勉強しやすい教科書であると思います。

【部会長】

地理と地図、ともに帝国書院ということでよろしいでしょうか。

【委員】

内容的に時事的な問題を扱っているレベルというのは、どの教科書も同じなのでしょうか。

【代表調査員】

その点につきましては、どの教科書もかなり工夫されています。地理は特に今の時代のことが書かれていないといけませんし、また、社会情勢の変化が激しい中で、どの教科書も優れているという印象を受けました。

【委員】

情報量でいいますと、東京書籍は字が小さい分だけ情報量が多くて、統計資料等多そうな感じがしました。

【代表調査員】

情報量が多いと、勉強が得意な子にとっては活用しやすいと思いますが、苦手な子にとっては、どこがポイントであるかが分かりにくいので、情報量について適切なバランスを考えますと、帝国書院に優位性があると考えます。

【部会長】

よろしいでしょうか。
ありがとうございました。

続きまして歴史に移りたいと思います。ページが戻りますけれども13ページをご覧ください。
では、よろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。私は社会の歴史の代表調査員を務めます、大阪市立長吉中学校、教頭の大野と申します。よろしくお願いいたします。

社会の歴史は7つの発行者があります。それでは、順に報告いたします。

まずは東京書籍株式会社についてです。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は、項目1の③、項目2の⑥、項目3の⑤、⑥といたしました。次に優れている点を、項目2の①、項目3の⑧といたしました。中でも項目2の⑥において、各章、各項のまとめとして、思考ツールを使って「基礎・基本のまとめ」、「探究のステップ」、「探究課題」のページを設けて、学びを深めつつ課題を解決できるところに特徴があります。

次に、教育出版株式会社についてです。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は、項目2の⑥といたしました。次に優れている点を、項目1の③、項目2の①、項目3の⑤、⑥、項目3の⑧といたしました。中でも項目2の⑥において、社会的事象に対する原因や背景、結果やその影響を深く探るために、資料の読み方や表現方法の紹介がされているところに特徴があります。

次に、株式会社帝国書院です。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が、項目2の①と項目3の⑥といたしました。次に優れている点を、項目1の③、項目2の⑥、項目3の⑤、⑧といたしました。中でも項目2の①の「見方・考え方」を働かせるため、時期や年代、推移、比較、相互の関連といった視点を使いこなせるよう構成しているところに特徴があります。

次に、株式会社山川出版社です。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目2の⑥と項目3の⑥といたしました。次に優れている点を、項目1の③、項目2の①、項目3の⑤、⑧といたしました。中でも項目2の⑥において、単元ごとの学習課題や「ステップアップ」等、歴史的な見方・考え方、学習内容を深める発問が明確に提示されている点において特徴があります。

次に、日本文教出版株式会社です。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は、項目2の⑥といたしました。次に優れている観点を、項目1の③、項目2の①、項目3の⑤、⑥、⑧といたしました。項目2の⑥において、単元ごとに歴史的な事象や場所等に関わる「地域調べ」や「歴史を掘り下げる」等の学習内容を深める記述が多く設定されている点に特徴があります。

次に、株式会社育鵬社です。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点はございません。優れている点は、項目1の③と項目2の①といたしました。また、工夫を要する点を項目2の⑥、項目3の⑤、⑥、⑧といたしました。この中でも項目1の③において、見開きごとに「学習のまとめ」を設定し、既習事項を整理し、自分の考えを説明させる構成となっており、主体的・対話的で深い学びの実現に配慮されている特徴がございます。

次に、株式会社学び舎です。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点はございません。優れている点は、項目1の③、項目2の①、⑥、項目3の⑤、項目3の⑧といたしました。また、工夫を要する点を、項目3の⑥といたしました。中でも項目1の③において、各単元の冒頭部「フォーカス」では、人々の生活の様子が具体的に表記されており、生徒が主体的に考え、疑問点等を発表させやすい特徴があります。

以上でございます。

【部会長】

では、専門調査会として優位性を確認した発行者を挙げていただけますでしょうか。

【代表調査員】

私どもの調査会において、東京書籍株式会社に優位性を確認いたしました。次いで、株式会社帝国書院、株式会社山川出版社に優位性を確認いたしました。

【部会長】

では、ご意見をお願いいたします。

【委員】

東京書籍の優位性について、理由をお願いします。

【代表調査員】

ご報告と重複しますが、各章、各項のまとめをするところに思考ツールがございまして、子どもたちが、既習事項をまとめやすく、なじみやすい工夫がされているところに優位性を確認いたしました。

【委員】

他者のものにも単元のまとめがあるように思いますが。

【代表調査員】

そうですね。各出版社においてもまとめがございしますが、やはり私たちの調査の中で決め手となりましたのは、その思考ツールという部分が、子どもたちに効果的である、ということでございます。

【委員】

他者にも思考ツールがあるように思うのですが、もう少し具体的にご説明いただけますでしょうか。

【代表調査員】

例えば教科書の147ページにございます、ピラミッドストラクチャーであったりとか、くらげチャート、96ページのXチャート等、このような思考ツールが、東京書籍では、まとめの中に用いられていまして、子どもたちの思考を深めたり、展開したりすることに効果があると考えました。

【委員】

1つ気になるのが、歴史的分野の教科書の調査結果の工夫・配慮を要する点に、「特記事項なし」が多くの発行者で続いています。それぞれの発行者の優れている点があれば、工夫・配慮を要する点についてもあると思います。時間をかけて調査していただいていると思いますので、できればそこもご指摘いただきたいと思いがいかでしょうか。

【代表調査員】

我々としましては、今回の調査において、どの教科書も検定を通っているということもあり、工夫・配慮を要

する点については報告書のとおり結果とさせていただきました。また、発行者間において、内容に大きな差はなかったと認識しております。調査においては、子どもたちにとって、最善の教科書を選ぶことを最重要事項としてあつたのですが、今いただいたご意見につきましては、もう1度考えさせていただければと思います。

【委員】

素朴な質問なのですが、中学校の社会については、地理、歴史、公民とありますが、地理では帝国書院、歴史では東京書籍、というように、それぞれの分野ごとに発行者を選んで構わないのですか。

【代表調査員】

はい。

【委員】

それから、もう1つ気になることは、教科書にサブタイトルがついているものがありますよね。「未来を拓く」や「共に学ぶ人間の歴史的分野」等、この内容については採択にあまり関係しないのでしょうか。

【代表調査員】

調査において、一定の考慮はしております。

【委員】

私個人の意見として、教科書を比べますと、東京書籍と教育出版と山川出版について、一つ一つの単元の内容を見ますと、分かりやすいと感じました。ただ、まとめ方についても、フローチャートになっていたり、表になっていたり、子どもたちにとって、どちらが見やすいのでしょうか。視覚的に言うと、教育出版の内容が、時系列で見やすいのではと感じたものですから、意見として言わせていただきます。

【代表調査員】

ありがとうございます。

【部会長】

他にはいかがでしょうか。

【委員】

報告のところで、大きな差がなかった、ということや、先ほど配慮・工夫を要する点について整理していただきたいという要請がありましたけども、優位性について、もう少しわかりやすい説明をお願いしたいと思うのですが。

【部会長】

ただ今、ご意見を2点いただきました。1つは各発行者の報告で、特に工夫・配慮を要する点について、「特記事項なし」になっているところを再検討いただくことと、東京書籍の優位性について、他者と比較して、はっきり分かるような表記をお願いしたいということで、もう1度持ち帰っていただけますでしょうか。

【代表調査員】

分かりました。

【委員】

山川出版の表記は詳細ですので、例えばコロナで休校中であっても、これを読むだけでいろいろ学べるというところは良さそうだなと思いましたし、一方で対話的に深めるという点では違うな、と感じました。

【委員】

山川出版については、高校の教科書というイメージが個人的にあって、教育出版や東京書籍は、教科書の下部に、今どの時代を学んでいる等といったことが分かりやすく書かれています。子どもにとってはやはり東京書籍の方が良いのではないかと思います。読み物としては山川出版も良いとは思いますが。

【部会長】

今のご意見を参考にしながら、再調査をお願いいたします。

【代表調査員】

承知いたしました。どうもありがとうございました。

【部会長】

では、歴史を終わります。

次に、公民に移ります。24ページをご覧ください。

よろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。私は社会科公民的分野代表調査員を務めます、大阪市立高津中学校、校長の竹内と申します。よろしくお願いいたします。

第4地区の公民的分野専門調査会では、第4地区の教科用図書採択基準の重点に位置づけられた6つの観点を基にしまして、教科書の記述、あるいは資料や図表が子どもたちにとって分かりやすいものとなっているか、また、掲載されている資料や図表に関して、子どもたちがそれらの資料から課題を見つけ、周囲の友だちとの意見交換を通して、学習内容を追究し、自分自身の考えをまとめ、そして深めることができるよう配慮されているか、また、帰ってから復習する時に、その教科書が子どもたちの自学自習に十分役立つか等も視点に据えながら調査を行いました。

公民的分野には6つの発行者があります。それでは、順に報告をいたします。

まずは東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。

特に優れている点として、項目1の③、項目2の⑥、項目3の⑧といたしました。また、東京書籍につきましては、特に工夫・配慮を要する点はありませんでした。東京書籍では、各章の最初に導入の活動のページが取り入れられ、これからの学習に向けた課題が設定されています。子どもたちが教科書を読み進める中、導入で示された課題を追究し、解決に向かって学習が行われるよう、また、自ら考える力が培われるよう工夫されている点が特徴であります。また、全編に渡って資料が豊富に掲載されており、また、各資料が分かりやすくま

とめられているため、子どもたちの自主的な調べ学習に役立つ内容となっております。また各章末に「基礎・基本のまとめ」として、重要語句や学習内容をまとめた図表が掲載されていますが、まとめ方が単調なところがあり、語句や図表の重要度の軽重が分かりにくくなってしまっています。明朝体やゴシック体等文字に変化を持たせる等の工夫が必要な部分がありました。

続いて、教育出版についてです。次のページをご覧ください。特に優れている点として項目3の⑥といたしました。また特に工夫・配慮を要する点として項目3の⑧を挙げております。教育出版では、各節を学んだ後、発展的な学習課題として、「公民の技」というコーナーを設けています。子どもたちが単元で学んだ内容をさらに掘り下げる課題が掲載されて、学習した内容を活用したり、表現したりする力が育まれる点が優れている点になります。ただ、各章の最初の「学習のはじめに」のページでは、これからの学習に向けて取り組む学習課題、あるいは内容が子どもたちにとってやや難解で取り組みにくく、もう少し解説を加えたり具体例を示す等、子どもたちが興味・関心を持ちやすくするような工夫が必要な部分がありました。

次に帝国書院についてです。次のページをご覧ください。特に優れている点として、項目2の①、⑥、項目3の⑧といたしました。また、特に工夫・配慮を要する点はありませんでした。帝国書院では各単元の冒頭に、今日学習する課題、テーマを具体的かつ分かりやすく記述しています。子どもたちが今日の授業で何を学習するのか、またどのような課題を追究し、解決に向かう方策、あるいは手立てを考えていくかが明確に示されているので、大変学習に入りやすいよう工夫されています。また、各章の最初には、見開きの大きなイラスト資料を掲載しています。そのイラストには、これから学習する内容に関するヒント、あるいは話題がたくさん散りばめられています。様々なヒントや話題を子どもたち自らが探し出したり、先生からの質問を通してイラスト資料を活用した授業を作っていたり、幅広く自由に扱うことができるページや資料がある点に、子どもたちがこれからの学習内容を身近に感じ、興味・関心を持って学習に向き合えるための工夫がされています。

次に日本文教出版についてです。次のページをご覧ください。特に優れている点はありません。優れている点として、項目1の③、工夫・配慮を要する点として項目3の⑧を挙げました。日本文教出版では、子どもたちが自分の考えを整理するとき用いる「シンキングツール」を4種類紹介しています。これらの「シンキングツール」は課題解決の方法を多面的に捉えるためのもの、また、自分の考えを構造化するためのもの、判断項目に基準を設定し、レーダー図の形にするもの等、公民の学習以外でも活用でき、今後役立つ資料が掲載されていました。また、全体を通して特に配慮を要する点はないものの、ここが特に優れているという評価をする意見も出ませんでした。全体的には読み手を引き付ける魅力、興味を高めるような記述が見当たらず、「あえて挙げるならば、この点が良いかな」という声が挙がっていました。

続いて自由社についてです。次のページをご覧ください。特に優れている点はありませんでした。優れている点として項目2の⑥が、特に工夫・配慮を要する点として、項目3の⑥、⑧が挙げられました。自由社では国際社会の抱える人権課題について、子どもたちが人権に関わる様々な国際問題に目を向け、課題解決の方策について考えられるよう工夫されています。ただ、全体的には文章記述が多く、他者と比較して資料も少ないため、子どもたちの興味・関心を高める点においては厳しい部分があるとの意見がありました。また、「やってみよう」のコラムでは、調べ学習の指示、または調べた内容を書き込む空欄の表があるだけで、調べるための手がかり、あるいは方策がなく、子どもたちにとって取り組みにくい内容となっています。また、各章末に設けられた「学習のまとめと発展」のページは、語句の記載だけにとどまっているため、語句の意味や内容を思い出すためのヒントや各語句との関連性を記す等、子どもたちが目標を持って復習、整理するための工夫や配慮が必要であるとの意見がありました。

最後に育鵬社についてです。次のページをご覧ください。特に優れている点はございません。優れている点として項目2の⑥、項目3の⑤、工夫・配慮を要する点として項目1の③、項目2の①、項目3の⑥が挙げられ

ました。育鵬社では、各単元末に「学習のまとめ」のページを設け、単元の学習内容の振り返りや重要語句の整理が進められるよう工夫されています。ただ学習のまとめや発展的学習を進めるために掲載されています「学習を深めよう：TRY」は様々な指示が書かれているものの、大半が「調べてみよう」で終わっております。調べた内容をどう相手に伝え、互いに意見を交わしながら考えをどう深めていくのか、今、子どもたちに求められている力を育む視点が弱い部分があるという意見がありました。また、日本国憲法に関する記述につきまして、他者との記述量を比較しますと、例えば憲法第1条の天皇の地位・国民主権、また第9条の戦争放棄、戦力及び交戦権の否認に関しまして、記述量の差が若干生じている箇所がありました。

以上をもちまして、公民分野6者の教科用図書の報告を終わらせていただきます。ありがとうございます。

【部会長】

では、専門調査会として優位性の認められた発行者について理由も添えてお願いいたします。

【代表調査員】

優位性が認められましたのは、東京書籍または帝国書院でした。

東京書籍につきましては、資料が豊富に掲載されております。子どもたちが家に帰ってから資料や図表を見ながら復習に取り組めるという点では、優れております。

また帝国書院は、様々な教材をもとに、子どもたちが考えるヒントがたくさん詰まっております。先ほども紹介しましたが、各章の冒頭にイラスト集が掲載されています。その中で子どもたちの興味・関心に応じて、様々な手がかりを見つけ出し、そしてそれを学習として深く追究していく、そういった点では非常にユニークな視点がこの教科書には盛り込まれており、優れております。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

では、ご意見はいかがでしょうか。

【委員】

優位性の認められた2者について、より優位性が認められたのは、どちらになりますか。1位が同率で2者あるのですか。

【代表調査員】

帝国書院を選ばれても、あるいは東京書籍を選ばれても、いずれも子どもたちの学びを深めるテキストとしてはふさわしいであろうという、調査結果でございます。

【委員】

アプローチが違うということでしょうか。

【代表調査員】

アプローチの仕方は東京書籍の方が、ある種、オーソドックスなスタイル、様々な資料が載っていて、それを子どもたちが見つけ出して調べることができるような工夫が見られます。帝国書院の場合は見開きのイラスト

ページ、あるいは、毎時間の授業で必ず学習するテーマというのを明確に示していき、そのテーマが本文にも生かされているという点では、生徒が本文を読んでいく中で、学習課題を非常に見つけやすい、という工夫がされているとともに、イラストでは、自分の関心に応じて様々な課題を見つけやすく、幅広い学習に対応できる工夫が見られます。

【委員】

確かに拝見していても、帝国書院はディベートのようなものを取りあげていますね。防災とかごみの分別とか、テーマが身近なところで、これを見ているとすごく新鮮な感じを受けました。

【部会長】

他のご意見はよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

この後休憩とさせていただきますが、時間が押していますので、5分とさせていただきますもよろしいでしょうか。40分から行います。

(休憩)

【部会長】

では、お揃いですので、再開させていただきます。

次は数学からとなります。29ページをご覧ください。

よろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。私は第4ブロック数学科の代表調査員を務めております、大阪市立昭和中学校、校長の森と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

数学は7つの発行者がございます。順に報告させていただきますが、最後に質疑・応答の時間があるとお聞きしています。もしお時間が許すようでしたら、数学の選定に際しての、標準的な判断基準をご説明させていただくこともできます。

それでは、まず東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の③、項目3の⑧といたしました。一方、特に工夫・配慮を要する点はこちらにはございません。項目1の③では、「深い学び」というページが各章や節の最初に見られまして、深い学びへと導く構成になっている点に特徴が見られます。

次の発行者、大日本図書についてです。次のページへお進みください。この発行者の特に優れている点は取り立ててございません。ただ総評以外では、例えば「データの活用」という分野において論理的・発展的に考える力を付ける配慮がされている点に特徴が見られます。

続いて3つ目の発行者、学校図書についてです。この発行者の特に優れている点は、項目1の③、項目2の⑦といたしました。一方、特に工夫・配慮を要する点はございません。優れている点の項目1の③では、「数学的活動」という「差し込み」が見られまして、生徒を深い学びへと導く構成となっている点に特徴が見られます。しかしながら、総評以外ではありますが、全ての文章において「文節区切り」ができておらず、工夫・配慮を要する部分がございます。

4つ目の発行者、教育出版についてです。この発行者の特に優れている点は取り立ててございません。ただ総

評以外で、「データの活用」の分野において論理的・発展的に考える力をつける配慮がされている点については特徴的と言えます。

5つ目の発行者、啓林館についてです。この発行者の特に優れている点が項目1の③、項目2の⑦、項目3の⑧といたしました。一方、特に工夫・配慮を要する点は取り立ててはございません。中でも項目2の⑦では、「学びを確かめよう」の中で、振り返り先を示す「差し込み」が見られ、生徒の振り返りを促す構成となっている点に特徴が見られます。

6つ目の発行者、数研出版についてです。この発行者の特に優れている点は項目1の③といたしました。一方、特に工夫・配慮を要する点はございません。項目1の③では、別冊になった「探究ノート」を用いて、生徒を深い学びへと導く構成となっている点に、特徴が見られます。また、総評以外で「データの活用」の「箱ひげ図」において、ドットとロットを用いて理解を促すという特徴が見られます。この特徴については、他にも数者で見られます。

最後の発行者、日本文教出版についてです。この発行者の特に優れている点が項目1の③、項目2の⑦、項目3の⑧といたしました。一方、特に工夫・配慮を要する点はございません。中でも項目2の⑦では、「基本の問題」の中で、振り返り先を示す「差し込み」が見られ、生徒の振り返りを促す構成となっている点に特徴が見られます。

以上でございます。

【部会長】

では、専門調査会として優位性の認められた発行者を、その理由を含めてお願いできますでしょうか。

【代表調査員】

今回の我々の調査は学校調査等も参考にいたしまして、順位立てとしましては、まず啓林館、続いて東京書籍、日本文教出版、という順で優位性が認められました。

【部会長】

理由をお願いいたします。

【代表調査員】

先ほどご説明させていただきました観点別で調査した結果、優れている点がたくさんあるということで、ただいま報告いたしました順番とさせていただきます。

【部会長】

いかがでしょうか。

【委員】

啓林館についてのご報告にあった、特に優れている点は、他者にはなかった特徴であると理解してよろしいですか。

【代表調査員】

観点を横並びに調査していきますと、啓林館が一番優れている点が多かったということでございます。

【委員】

優れている点が多かった、という点が他者に対する優位性という理解でよろしいでしょうか。

【代表調査員】

そうです。調査に際しましては、重点化された観点を中心に調査をいたしました。これにつきましては、正直なところ各発行者において創意工夫を凝らして作られていますので、大きな差は認められず、あとは子どもたちの受け取り方が重要なポイントになるかと思えます。

【委員】

保護者の立場で申しあげます。中学1年生の方程式の単元について、一通り拝見させていただきました。各者、具体例を出されていて、その具体例が身近なもので表現されていたり、見やすかったり、分かりやすいと思ったのが、日本文教出版さん、啓林館さんと数研出版さんでした。この3者は、子どもたちが学習に入って行きやすいだろうということをすごく感じました。また、私は、啓林館さんの構成がすごく面白いと思いました。前後両方から使えるような形になっていて、「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」という構成になっていて、非常に興味深いな、と思いました。このような構成を初めて見るので、学習の進め方として、普段は先生に教えてもらいながら、教科書を前から開けて学習する、その後、復習というか、発展というか、自分で学習内容を落とし込むために、教科書をひっくり返して学習を進めていく、例えば50分の授業の中で、そういった使い方をすると想像しますと、子どもたちの切替えの機会としては新鮮ですし、楽しそうだな、と感じました。見やすさ、という点においても啓林館さんが私は良かったと思います。

以上です。

【委員】

前後両方から使用するという構成は初めてですね。かなり思い切った編集だなと思いました。

【委員】

そうなんです。すごく面白くて。

【委員】

専門調査会の結果には書かれていませんが、学校調査会の結果の資料の項目1の啓林館さんに対するコメントで、「二部構成が分かりづらい」と書かれています。これはどういうことですか。

【代表調査員】

ご指摘の部分についての受け止め方というのは、我々指導する側から言いますと、好みが分かれるであろうというのが正直なところですが、啓林館の教科書は、以前、別冊形式にしていた時代もありましたが、今回は、その別冊形式が不評だったのか、推測にしか過ぎませんが、2冊仕様を1冊で二部構成という形にしてきたのでは、と想像しています。

【委員】

教える側としたら何ページを開けて、裏の何ページ目を見てというふうになってくると、子どもたちが混乱す

る可能性がある、ということや、今ありましたように、別冊が不評だったという観点からの意見かと思えます。様々な考え方がありますので、この二部構成が家庭学習に効果的であるという意見もあるでしょうし、教科書の使い方によるところもありますが、教員の好みは分かれるであろうと私も思います。

【代表調査員】

この啓林館の二部構成につきましては、1回の授業を進める時に、表を見て、裏を見て、ということではなく、裏は見開きで1単位時間という構成になっていますので、単元のまとめで活用するという使い方が想定されます。1時間の授業の中であっちへ行ったり、こっちへ行ったりというご心配はそれほどないだろう、と思います。

【部会長】

他にはいかがですか。

【委員】

他の種目にもあったのですが、特に工夫・配慮を要する観点について、「特記事項なし」という報告が多くみられますが、この点について、ご説明いただいてもよろしいでしょうか。

【代表調査員】

ご指摘のとおり、各者の比較についての横軸をご説明しながら見ていただくと良いと思います。まず重点化された観点で見ますと、項目1の③、主体的・対話的活動が焦点化されているというのが東京書籍、学校図書、啓林館、数研出版、日本文教出版です。

続いて項目2の①ですが、この観点については、数学の肝になりますので、発行者それぞれの工夫によって全者優れております。

項目2の⑦について、振り返りについては各発行者ともに一定の工夫はされておりますが、いわゆる批判的思考の育成という観点において、はっきりと意識しているのが学校図書、啓林館、日本文教出版です。逆に思考を分断するような構成が教育出版には見受けられます。

それから項目3の⑥については、各発行者ともに独自の工夫をされています。

項目3の⑧ですが、この点については各発行者ともに興味・関心を喚起する努力は見受けられますが、例えば2年生の単元で、「データの活用」を比較して見ますと、天気や体重測定ということで、話題がオーソドックスで、なかなか子どもの興味を引きにくい部分があります。それに対してコンビニの売れ筋商品や、インターネットの通信速度等、中学生にとって興味・関心を喚起するような話題を取り入れているのが東京書籍と啓林館となっております。

以上、今ご説明させていただきましたように、重点化された観点を柱として調査をした結果、各者とも創意工夫を凝らして作られていますので、大きな差や、特に工夫・配慮を要する点については「特記事項なし」と報告させていただきました。

時間が押しているということで申し訳ないのですが、重点化された観点以外の比較についてもご説明させていただきます。

例えば「箱ひげ図」、これは、今回高等学校から下りてきた内容です。こういったグラフを使って学習する活動について、各者それぞれ大きな特徴があるのですが、こちらは新導入ということになりますので、比較的各者の特徴が表れやすいと思います。

同じく「データ活用」の単元において、PPDACサイクルと言われるような考え方の流れについて配慮した構成になっているか、ということと言えますと、大日本図書、教育出版、啓林館がこの辺りを配慮した構成となっております。

デジタルコンテンツにつきましては、全者、何らかの形で取り入れています。

それから人権尊重の観点で言いますと、漢民族のルーツをキャラクターに取り入れているのが大日本図書です。一方で、大日本図書は、先ほど申しました「文節区切り」ができておりません。

あとは付属的なこととなりますけれども、教科書の表紙を見ていただきますと、いわゆる、てかりがあるものが多いです。キラキラしているんです。これが意外に思われるかも知れませんが、窓際に座っている子どもの教科書に反射しまして、隣の子どもの顔に当たるといったことがあります。その辺りについて、工夫が見られるのは学校図書と啓林館です。反射しないようにしているんですね。

最後に、郷土愛という観点では、やはり地元の写真がたくさんあるほうが子どもにとっても愛着がわきやすいと思います。大阪関連の写真が取りあげられているのは、東京書籍が5か所、日本文教出版が4か所、その他は1か所か2か所です。とりわけ東京書籍は第4教育ブロックにあります、長居運動公園を取りあげております。

【部会長】

他にはいかがですか。

【委員】

章末問題の豊富さについてはいかがですか。

【代表調査員】

そちらにつきましても、各者ともそれぞれ工夫しておりまして、章末で集中的に扱っている発行者もありますし、単元あるいは節ごとに一定量を設けている者もあります。この点につきましては、使う側、子どもにとって、何が良いか、というところは見解が分かれるところかなとは思いますが。

【委員】

豊富さにおいて差はなかったということですか。

【代表調査員】

豊富さで言いますと、啓林館、東京書籍あたりが質も良かったのではないかと思います。

【部会長】

他にはよろしいでしょうか。

では、数学を終わります。ありがとうございました。

続きまして理科に移りたいと思います。37ページになります。

よろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。私は理科の代表調査員を務めております、大阪市立平野北中学校、校長の堀です。よろしく

お願いいたします。

理科は5つの発行者があります。順にポイントを絞って説明したいと思います。

まず1つ目、東京書籍についてです。報告書の総評をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の③、項目2の①、項目3の⑧、優れている点が、項目2の⑦、項目3の⑥といたしました。また、工夫を要する点として、項目3の⑤といたします。中でも単元の節ごとに「レッツ・スタート」として、問題発見、課題を明確に記載しており、課題に対する結論を自分の考えでまとめる、話し合う、活用するという探究に直結した学習活動のプロセスが分かりやすく示されています。また、対話的学びを喚起する対話の具体例も示されており、主体的・対話的で深い学びが実現しやすいよう適切に構成されています。今年度の理科の教科書のサイズが大きくなったところが多いのですが、この発行者の教科書の大きさはA4スリム版ということで、横幅がB5になって縦長になっております。いろいろ意見がございましたが、横に大きくなるより縦に大きくなった方が机上に置いた時には扱いやすいのではないかと考えました。

2つ目、大日本図書についてです。報告書を1ページめくり、総評をご覧ください。この発行者の特に優れている点はありませんでした。優れている点が項目1の③、項目2の⑦、項目3の⑤、⑥といたしました。また、工夫を要する点として、項目2の①、項目3の⑧といたしました。中でも教科横断的な視点は科学コラムと関連して、「その頃日本は」という形で、その年代に日本で起こったことを紹介するページや、また、「つながる」という形で、他教科の学習内容を、履修する学年ごとに記載する等、子どもたちにとって印象に残りやすく、興味・関心を持って学びにつながる工夫がされています。この発行者のみ教科書の大きさがB5判から変わっておらず、他の発行者より小さいことが関係するのか、写真等が少し小さいところがあり、よく見ないと分かりにくいようなページもあります。

3番目、学校図書です。報告書を1ページめくり総評をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の③、優れている観点が項目2の①、項目3の⑥、⑧といたしました。工夫を要する点として項目2の⑦、項目3の⑤といたしました。中でも巻頭の「理科のトリセツ」というページでは、主体的・対話的で深い学びについての説明があり、生徒の学びを実現させることの大切さや探究、発表の方法等がまとめてあります。また、ホワイトボードとして使用できる「学びの交換アイデアボード」のページも設けられ、生徒自らが考えをまとめたり話し合ったりして学習を進めるのに適した工夫がされています。また、二次元コード、いわゆるQRコードが教科書の各ページ、随所に掲載されており、家庭学習に用いることができたり、動画を確認できたり、ウェブサイトの活用がしやすくなっています。

4つ目、教育出版です。報告書を1ページめくり総評をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目2の①、優れている観点が項目1の③、項目3の⑧、工夫を要する点として項目2の⑦、項目3の⑤、⑥といたしました。中でも巻頭の「探究の進め方」というページでは、探究することについて子どもたちにとって分かりやすく記載されており、また単元内の各ページでも巻頭のページと同じような形で疑問を見つける、課題を決める、仮説、計画、実験、観察、考察、結論という順番で展開されており、生徒が見通しを持って学習を進められ、科学的に探究するための能力が育成されるよう工夫されております。

5番目、啓林館についてです。報告書を1ページめくり、総評をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の③、項目2の①、⑦、優れている点が項目3の⑤、⑥、工夫を要する点として項目3の⑧といたしました。中でも日常生活や社会との関連を意識した科学コラムがあり、部活動に関連したものや食育につながるもの、仕事、キャリア教育につながるもの、というような形で分類され、内容も分かりやすいものが多く、日常生活や社会との関連した内容が充実しており、科学的な概念と関連付ける工夫がされています。また、QRコードがこの教科書にも随所に記載されており、子どもたちがICTを活用した情報の入手や、補充的学習等を行いやすいように使いやすく配置されています。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

では、理科の専門調査会として優位性の認められた発行者を、理由を含めてお願いできますか。

【代表調査員】

特に主体的・対話的で深い学びの実現、という観点においては、各者ともに工夫が見られましたが、東京書籍に優位性が認められました。構成の中でも、「活用」という部分に特徴がありまして、他の教科書では、結論で終わっているものが多いのですが、学んだ内容を生かす新しい課題がうまく組み合わせられておりますので、その点が最も大きな理由として、また、他の観点も含めて全体的に比較したところ、東京書籍に最も優位性が認められました。その次に啓林館に優位性が認められました。

以上でございます。

【部会長】

では、ご意見をお願いいたします。

【委員】

質問です。教科書のサイズについて、今までにA4判というサイズはあったのでしょうか。

【代表調査員】

今使っている教科書はB5判です。今年横に広くなったA4判が多くなりましたが、教室の机は横が65センチですので、A4判の教科書とノートを机上に並べるとなると、逆に使いづらいということがあると思います。

したがって、縦長という形が見慣れないので様々な意見がありましたが、机上で使用を考えた時に、サイズを大きくするのであれば、縦長の方が使いやすいという意見に集約されました。

【委員】

すごく新鮮でスタイリッシュな感じがします。なるほど分かりました。ありがとうございました。

【部会長】

報告書の総評欄の、重点化された観点について、特に優れている点の数だけで見ますと、東京書籍も啓林館も同じ3つずつですけれども、先ほど説明にあったように、主体的・対話的で深い学びという観点で1番が東京書籍、そういうことでよろしいでしょうか。

【代表調査員】

はい、他にも東京書籍については重点化された観点以外にも優れている点があり、総合的に見て東京書籍に優位性が認められたということでございます。

【部会長】

理科について、他にはよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

続きまして音楽に移ります。音楽につきましては一般と器楽合奏と併せて進めたいと思います。

では、よろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。私は音楽（一般・器楽合奏）の代表調査員を務めます、大阪市立摂陽中学校、教頭の讃井と申します。音楽（一般）には2つの発行者がございます。それでは、順に報告いたします。

まずは教育出版についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点はありませんでした。優れている点が項目1の③、項目2の①、⑤、項目3の⑥といたしました。また、特に工夫・配慮を要する点が項目3の⑤、⑧といたしました。中でも「うたう・つくる・きく」と系統立てて学習できる工夫がある一方で、資料としての「ポピュラー音楽図鑑」のページにおきましては、生徒が最も身近に感じるであろう我が国のポピュラー音楽については触れられておらず、また諸外国のアーティストの紹介についても写真を用いず、イラストで紹介するにとどめる等、生徒の学びへの興味・関心を引くことにおきましては、工夫を要するところがございます。なお、総評以外におきましては、全学年とも、楽典や楽器の紹介の資料として、折り込み開きのページを採用しております。他のページよりも厚めの紙を使用しているものの、折れ曲がりや破れ、欠損のリスク等も考えられ、取り扱いの上で配慮を要するところがございます。

次に教育芸術社についてです。報告書を1ページめくってください。この発行者の特に優れている点が、項目1の③、項目2の①、⑤、項目3の⑤、⑥といたしました。また、工夫・配慮を要する点が、項目3の⑧といたしました。中でも、生徒の音楽活動の手がかりとなります強弱、リズム等、音楽を形づくっている要素が各教材に示されており、生徒が音楽活動を通して音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成のために大きな道しるべとなっていることに特徴が見られます。以上でございます。

【部会長】

併せて器楽合奏についてもお願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。続きまして、音楽（器楽合奏）について、報告させていただきます。

音楽（器楽合奏）は2つの発行者がございます。それでは、順に報告いたします。

まずは教育出版についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目2の⑥、項目3の⑥、⑧といたしました。また、工夫・配慮を要する点が、項目1の③、項目3の⑤といたしました。中でも各楽器を扱うページにおいては、基礎的な楽曲に取り組んだ後「まとめ」と記された楽曲に取り組んで生徒がステップアップを体感でき、生徒にとって親しみが持て、意欲が高められるよう導く構成となっていることに特徴が見られます。なお、総評以外では、紙面で扱われている楽器が実際にどのような場面、またはどのような演奏形態で用いられているかという紹介資料が少ないことについて、重点化された観点ではございませんが、音楽と生活や社会の結び付き、生活や社会において音楽が果たしている役割を感じ取るということにおきましては、工夫・配慮を要し、重点である項目2の⑥にも関連するものと考えております。

次に、教育芸術社についてです。報告書を1ページめくってください。この発行者の特に優れている点が項目1の③、項目2の⑥、項目3の⑤、⑧といたしました。また、特に工夫・配慮を要する点が、項目3の⑥とい

たしました。中でも各単元の目標を基本的な内容ではコンパクトに、また、発展的な内容では深化を促す目標が示されることで、生徒に見通しを持たせ、主体的な学びへと導く構成となっていることに特徴が見られます。なお、総評以外でも、リコーダーやクラシックギター、伝統的な和楽器等のほか、エレキギターやドラムセット等ポピュラーな音楽に関連する楽器の紹介を扱うことで、重点ではございませんが、生徒が興味を持ち、学習意欲を引き出そうとする工夫があり、重点である項目3の⑧にも関連するものと考えます。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

では、音楽の専門調査会として優位性の認められた発行者を挙げていただきます。まずは一般について理由も含めてお願いできますか。

【代表調査員】

どちらの教科書にも非常に工夫が見られますが、まず学習指導要領における共通事項としまして、音楽を形づくっている要素、というものがございます。それぞれどちらにも記載はございますが、教育芸術社がそれぞれの教材において、明確に、単元ごとに強弱、リズム等というように示されております。教育出版では、それが冒頭にまとめて示されているのですが、個々の教材においては記載がなく、子どもたちが何を手がかりにその音楽を深めていくかが不明瞭であり、教育芸術社に優位性を認めたところであります。また、子どもたちがなじみやすいような音楽と言いますか、ポピュラー音楽であるとか、そのような扱いについても、教育芸術社に優位性が見られましたので、私どもの調査の結果からいたしますと、教育芸術社を優位性のある発行者とさせていただきます。

【部会長】

器楽合奏についてはいかがでしょうか。

【代表調査員】

器楽合奏におきましても、先ほどの説明と重複いたしますが、やはり楽器そのものについてそれぞれ学習していくということにおきましては、どちらの発行者にも工夫が見られるのですが、その楽器が、どういう場面で用いられているのか、身近な生活場面、例えば、お祭りのような芸能でありますとか、自分たちの生活にその楽器がどう関わっているかという部分の説明において、教育出版は少なく、教育芸術社に優位性が認められました。

【部会長】

ありがとうございます。では、ご意見をお願いいたします。

【委員】

一般の方で、先ほど教育芸術社が優位といったご説明をいただいたポイントは、この総評のどの部分になるか、教えていただけますか。

【代表調査員】

2つ目になります。

【委員】

分かりました。

【部会長】

他にはいかがでしょうか。

では、私から2点質問です。音楽については、2者ずつしかないので、音楽の教師として、やはり同じ発行者を選んだほうが子どもたちに対する授業のやりやすさというのはあるのでしょうか。

【代表調査員】

それはやはりあります。

【部会長】

大阪府の他の市を見ると、2者をたすき掛けで採択するところもあるのですが、教科書の構成において授業の展開等で、連携するところがあると捉えておられるということでしょうか。

【代表調査員】

はい、そのように捉えております。

【部会長】

もう1点は、器楽合奏について言うと、優位性だけを見ると、どちらかという教育出版の方がいいように書いてあるように思うのですが、総合的に工夫を要する点も含めて教芸に優位性があったという結果であったということでしょうか。

【代表調査員】

おっしゃるとおりでございます。総評欄、重点化された観点で言いますと、教育芸術社が優れている点が4つ、工夫・配慮を要する点が1つと報告させていただいております。教育芸術社については、特に優れている点が1つ、優れている点が2つ、工夫・配慮を要する点が2つと報告させていただいております。以上のことに加えて、重点化された観点以外についても教育芸術社の方に優位性があった、という判断でございます。

【委員】

器楽合奏については、優位性を認められたポイント、というのは総評のどの部分になりますか。

【代表調査員】

器楽合奏におきましても、総評の2つ目になります。楽器がどういう場面で使われているかについての説明が教育芸術社では要所ごとに扱われておりまして、教育出版には太鼓の演奏のところぐらいでしか扱われていない、ということです。

【委員】

演奏上の工夫について、どちらかに優位性があったとか、そのようなことはなかったのでしょうか。

【代表調査員】

その辺りはどちらも段階を追って展開していけるような構成になっております。

【部会長】

他にはいかがですか。よろしいでしょうか。

では、音楽は終わりたいと思います。ありがとうございました。

続きまして、美術に移りたいと思います。47ページをご覧ください。

よろしく願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。美術の代表調査員の大阪市立長吉六反中学校、校長の藤田でございます。

まず開隆堂でございますが、全体的に画面が大きな判になっております。どの題材も非常に適切に選ばれておりまして、各題材ごとに3つの学習の目標が分かりやすく提示されております。また、全体的に大きな判であるものの、使っている写真が小さいところがあり、余白が多いところがございます。一方で、余白の多さが生徒にとって資料を見やすくしている、という意見もございました。また、全体的に色味が地味なところがございます。鑑賞について、日本の作品について、他者と比較しますと、子どもたちになじみの薄い歴史的な作品を扱っているという特徴がございます。例えば、1の24ページをご覧くださいますと、伊藤若沖という作者の日本画が出ておりますが、他者は俵屋宗達等の子どもになじみのある作者を扱っております。伊藤若沖を中学1年生で扱うことについては、配慮を要するところがございます。全体のレイアウト等について、工夫・配慮を要する点を、調査報告書の下段に記載させていただきましたのでご覧ください。

続きまして、光村図書でございますが、これはまず見ていただきましたら分かりますように、他者と比べて、教科書の大きさが小さくなっております。大きさにつきましては、特にベテラン教員の間では、小さい方が評価は高いのですが、一般的に他の教科書については大判になってございます。大きいほうが子どもにとってはインパクトがあって良いのかなと思います。工夫・配慮を要する点としましては、各単元に観点別に目標が示されていますが、視覚的に生徒にとっては理解しにくいところが見受けられます。また、写真資料のレイアウトや図版によって用紙を変えているところ等、鑑賞の資料として主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫が優れております。特に光村図書は専門調査員の間で評価が高く、専門調査会一次調査の結果としましては、光村図書が一番高い評価でございました。

次に、日本文教出版でございますが、各単元において、「学びの目標」が見やすいマークとともに示されており、目標や内容を踏まえて効果的な指導が行われるよう構成・配置されている点が優れております。また、例えば「美術1」の教科書において、中学生にとってもなじみのある、松任谷由実さんのコメント等を入れておられたり、各単元において「造形的な視点」を項目で示し、「作者の言葉」の項目で作者の意図や思いを読み取らせるように構成されている点が優れております。さらに、写真資料の色調が他者に比べて正確であり、教科書見開き2ページの内容が、資料が大きく見えるように配置されており、生徒が興味を持ち、学習意欲が引き出されるようなデザインとなっている点が優れております。最後に、この日本文教出版だけが3冊構成になっておりまして、「美術1」と「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊になっております。開隆堂と光村図書につきましては2冊構成、「美術1」と「美術2・3」となっております。この点につきまして、学校調査会と専門調査会で違いが生まれて、専門調査会では、どちらかという2・3が1冊にまとめられているほうが使いやすい

いという意見がございました。一方で、学校調査会では1、2、3と分かれているほうが分かりやすく使いやすいという意見がございました。

したがって、当初、専門調査会の一次調査におきましては、光村図書の評価が高く、優位性については光村図書、日本文教出版、開隆堂、この順番でございましたが、学校調査会では圧倒的に日本文教出版が高く、その後光村図書、開隆堂となっております。学校調査会の結果を踏まえまして、専門調査会の二次調査において、再調査いたしました結果、先ほど、説明いたしました、日本文教出版の「造形的な視点」や「作者の言葉」の項目が生徒にとって視認しやすいマークで示しており、生徒が造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と関わる資質・能力を伸ばすことができるような工夫が特に優れている、ということで日本文教出版に最も優位性があり、次いでほぼ差がなく光村図書、その次に開隆堂、という結果となりました。

最後に、実際に見ていただきたいのですが、各教科書に色相環というものがございます。開隆堂は最後の見開き、光村図書、日本文教出版も最後のページになります。12色相環、これは美術の基本中の基本でございますが、3つを見比べていただけますでしょうか。非常に難しいところがあるのですが、並べてみますと、ここに美術の教科書としての特徴が大きく表れていると言って良いと思います。この中で12色相を見ますと、色が最も正確なのは日本文教出版であります。開隆堂は黄色がきれいですが青系統の区別が弱い。光村図書は赤色がやや黄色に寄っている。したがって橙にくすみが見られる部分があります。日本文教出版は赤も正確ですし、それぞれの色の色相の違いが、はっきりと出ています。青の違いもはっきりと出ています。その色の違いがはっきりと出せるということは、教科書内の全ての印刷において色の正確性が高いであろうと考えられます。正確な色を出すというのはなかなか難しいことです。子どもたちにとっては、少しでも色相が正確な方が、実物に近い色で作品に触れることができると考えたことも、日本文教出版が優位である理由とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【部会長】

ありがとうございます。

では、今報告がありましたように、優位性の認められた発行者として、総合的に日本文教出版が1番、光村図書が2番ということになるかと思えます。ご意見はいかがでしょうか。

【委員】

学校調査会のコメントの中に、「ユニバーサルデザインについての記述が不十分。」と、それから「ユニバーサルデザインに工夫を要する。」、その下には「特別支援教育、色覚に関して、」と書かれていますが、このコメントについてはどのように捉えておられますか。

【代表調査員】

ご指摘の点につきましては、例えば特別な支援を要する生徒、特に色覚とか形状に敏感な生徒への配慮について、色調や図版のレイアウトが支援を要する生徒にとって配慮がされているか等、専門調査会でも様々な意見がございました。特別な支援を要する生徒の中には感覚が鋭い生徒もあり、色調や図版のレイアウトが刺激あるいはプレッシャーになっていないか、他には字体についても、小さ過ぎないか、また明朝体よりはゴシック体の方が優しいのではないか、といった意見がございました。

学校調査会の日本文教出版に対するコメントの「特別支援教育、色覚に関して、すべての生徒が情報をできるだけ等しく取り入れ学ぶことができるよう配慮されている。」というコメントは、私が先ほど説明させていただ

きましたように、色遣いやレイアウトにおいて、すべての生徒に対する配慮がなされている、という意味であると捉えております。

【委員】

あまりにも鮮やかなものは情報として刺激が強いということにもつながる、発達障がいの子どもたち、特に自閉症スペクトラムの子どもたちの中には、芸術性がすごく豊かな反面、見え方に偏りのある子どももいます。確かに推薦なされた日本文教出版は発色がすごくきれいなので、非常に見やすい、と感じますが、逆に見え過ぎてしんどくなる子も出てくるのではという懸念がありましたので、意見を言わせていただきました。

【代表調査員】

おっしゃるとおりでございます。どの教科書にも、ご指摘いただいた傾向はございまして、生徒にとってインパクトの強いものを作ろうとして、見開きのページを多くするということがあります。見開きによる効果で迫力ある資料となり、それが広く一般的となってきました。私どもは長年教科書を調査させていただいておりますが、その傾向は次第に強くなってきていると感じています。特に日本文教出版は教科書の表紙においても、工夫がありまして、この「美術1」の表紙はフェルメールの「真珠の耳飾りの少女」ですが、こちらは原寸大となっております。「美術2・3下」の見開きにあります、火炎土器も原寸大なのですが、かなりの迫力で、強い刺激に苦しむ生徒がいるやも知れません。インパクトの強さをもって生徒の興味・関心を喚起するためのポイントとすることについては、ご指摘のとおり、様々な生徒がおりますので、慎重な検討が必要な課題であると思います。

【委員】

日本文教出版の色相が優れているとご報告いただきましたが、光村図書の内容を見てみますと、教科書のサイズは小さいですが、作品によって掲載ページの紙の素材を変えてみたり、子どもたちにとって、より本物に触れているような工夫が見られます。2年生、3年生になると、掲載ページの素材を変えるだけでなく、ダヴィンチの作品で、生徒の活動の手立てとして、トレーシングペーパーを挟んだりもしています。そういう点が私にとっては初めてで感心しましたし、自分が欲しいな、と思う本でした。

【代表調査員】

先ほどご報告させていただきましたが、専門調査会の一次調査では、今、ご指摘いただいた特徴も評価され、光村図書に高い優位性を確認いたしました。学校調査会では、重点化された観点を含めて、光村図書より日本文教出版の評価が高く、その結果を加味して再調査した結果、日本文教出版の、生活や社会の中の美術や美術文化と関わる資質・能力を伸ばすことができるよう工夫されている点が特に優れており、日本文教出版に最も優位性がある、という調査結果とさせていただきます。

【部会長】

他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、美術を終わりたいと思います。ありがとうございました。

続きまして、保健体育に移ります。51ページをご覧ください。

よろしく願いいたします。

【代表調査員】

失礼します。保健体育の代表調査員をしております、大阪市立平野中学校、校長の北本です。どうぞよろしくお願いいたします。

保健体育は4つの発行者があります。それでは、順に報告をいたします。

まずは東京書籍です。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の③、項目3の⑤といたしました。次に、優れている点が項目2の④、項目3の⑥といたしました。また、工夫・配慮を要する点が項目2の③、項目3の⑧といたしました。中でも項目1の③については、1単位時間ごとに課題に気づき、その解決や追究、活用方法を適切に学習できるような構成になっています。さらに項目3の⑤については、学習のめあてが明確に提示され、他教科との関連資料についても掲載されています。次に項目2の④については、生涯にわたってスポーツに取り組むための健康の保持増進について、また具体的にスポーツライフを考える場面が設定されています。多様なスポーツ観から自らに適した生活態度が培われるよう工夫されています。また、項目3の⑥については生徒が学習した知識を深める資料提示があり、またその知識を実際の生活で活用できるようになっています。次に項目2の③については、課題解決に対する問いかけは多いのですが、課題発見や伝える力の育成につながる問いかけが少なく、手立てやヒントについて、工夫を要するところです。そして項目3の⑧については、生徒の興味・関心を高めるために写真やイラスト等を資料として使用しているのですが、それらを基にして生徒自身が主体的に掘下げて学習し、高い学びにつながる効果的な資料は少なく、工夫を要するところです。

次に、大日本図書についてです。報告書を1ページめくってください。この発行者の特に優れている点が項目3の⑤といたしました。次に優れている点が項目2の④、項目3の⑧といたしました。また、工夫・配慮を要する点が項目1の③、項目2の③、項目3の⑥といたしました。中でも項目3の⑤については、各単元の「リンク」というところで、学習分野が保健体育や他教科のどこにつながっているのかが、明確に示されています。次に項目2の④については、豊かなスポーツライフについて取りあげ、生涯を通じて運動やスポーツに親しむ方法を指示しており、今後の運動やスポーツの関わり方についても考えるよう工夫されています。また、項目3の⑧については、各単元の初めのページ、「トピックス」では学習内容に関連が深く、生徒の興味を引き付けるような話題が提供され、生徒の学習意欲をかき立てる工夫がされています。次に項目1の③については、「話し合ってみよう」で、対話的な活動を促すようにはしていますが、ある程度決まった内容の回答が予想され、話が広げにくい発問となっているため工夫を要するところです。そして項目2の③について、各章末の「学びを活かそう」では、課題発見とその解決を思考する内容が取り込まれているものの、学びを活かす教材自体の設定が少なく、工夫を要するところです。さらに項目3の⑥については、振り返りのためのまとめの問題が教科書の中にはなく、ウェブサイトにはアクセスしなければ学習の振り返りに取り組むことができず、工夫を要するところです。

次に、大修館書店についてです。報告書を1ページおめくりください。この発行者の特に優れている点が項目2の③、項目3の⑥といたしました。次に優れている点が項目2の④、項目3の⑤といたしました。また、工夫・配慮を要する点が項目1の③、項目3の⑧といたしました。中でも項目2の③については、「つかむ、身に付ける・考える、まとめる・振り返る」が明確に示されており、学ぶポイントが掴みやすくなっています。また、自他の課題を見つけやすく、学びやすい工夫が随所に見られます。さらに項目3の⑥については、学習した内容の定着が図れるように、各章の終わりに「章のまとめ」があり、学んだことが実際に生かせるように問題が構成されています。次に項目2の④については、スポーツの意義に着目できるように課題を設定し、パラリンピアンやスポーツ交流等を紹介することで生涯スポーツにつながるように展開されています。また項目3

の⑤については、心身の発達において他教科で学習したことや別の単元との関連を明確に示しています。次に項目1の③については、主体的・対話的な活動を促すような活動が全体を通じて少ないこと、感じたことや思ったことをさらに発展させ、課題解決にいたるまでの過程を扱うような発問を加える等の工夫を要するところです。そして項目3の⑧について、全体的に発展資料が多過ぎる部分があり、教える側にとっては興味深い内容であっても、中学生の世代にとっては情報量が多過ぎるところあり、工夫を要します。

最後に、学研教育みらいについてです。報告書のページをめくってください。この発行者の特に優れている点が、項目1の③、項目2の③、項目3の⑥といたしました。次に優れている点が、項目2の④、項目3の⑧といたしました。また、工夫・配慮を要する点が項目3の⑤といたしました。中でも項目1の③については、単元ごとに課題を見つけやすいように示しており、考えて調べたことをまとめ、深めるための資料が豊富に用意されているのが特徴です。さらに項目2の③については、自分の体験に着目させ、課題を掴みやすくし、実習を展開することで他者に伝える力を養いながら、課題解決方法を模索できるように展開されています。そして項目3の⑥については、各章の終わりに「章のまとめ」があり、学んだことを実際に生かせるように問題構成が工夫されています。次に項目2の④については、特集で、体力向上の必要性を実生活に照らし合わせて紹介し、けがの防止に努めながらスポーツ活動を行えるようにしています。また項目3の⑧については、写真・イラストの素材やレイアウトも明瞭・明確で、一目で学習内容が捉えやすく、生徒が興味を持ちやすいように工夫されています。次に項目3の⑤については、学習分野が保健体育の他のどの分野とつながっているかについては触れられていますが、他教科とのつながりの記述がほとんどなく、工夫を要するところです。以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

では、保健体育の専門調査会として優位性の認められた発行者を理由も含めてお願いできますでしょうか。

【代表調査員】

最も優位性が認められたのは学研教育みらい、これは教科書を全体的に見ますと、スモールステップでうまくまとまっていて、中学生にとっては使いやすいという特徴があります。また、全体を通して見やすく工夫されているということも特徴かと思われます。次いで、東京書籍に優位性が認められました。ただし、東京書籍については、学研教育みらいと比較したときに、手立てや発問に工夫を要するところが見られました。課題解決に対する問いかけは多いのですが、課題発見や考えや意見を伝え合うための発問が少なく、生徒たちが対話的な活動で学習内容を深めていく、という点において工夫を要するところがあります。

【部会長】

ありがとうございます。

ご意見をお願いいたします。

【委員】

4者を拝見させていただき、私も学研さんが一番見やすく、子どもの理解を深める工夫があると思います。大修館さんは、ご報告のとおり、専門的な資料が多く、情報量が多いので勉強になりました。今、感染症のところを拝見しているのですが、コロナについて、やはりまだ掲載されていない。それはそうですね。その辺はどうなのでしょう。学研さんでSARS、デング熱等の扱いがありますが、改編等なんらかの措置はされる

のでしょうか。間に合わないでしょうか。

【代表調査員】

コロナウイルスについては、間に合わないですね。

ただし、今年はこの状況ですので、私の学校の取組を例に出させていただきますが、保健体育科担当のほうでは保健の授業で、特に今回の感染症については、教科書に扱いはありませんが補足資料等を活用しながら、生徒たちにはしっかりと教えています。子どもたちは、予防を含めて対策を知らないといけないので、その点については教科書に載っていないなくても、発展内容ということで、私の学校に限らず、それぞれの学校で指導されていると思います。

【委員】

私も4者の教科書を見ていて、学研がやはり見やすいと思うのと、取り扱われている内容についてはほぼ差はありませんが、その中でも説明が明確だと思います。今時の中学生については、本当に様々な問題が出てきていますよね。心身ともに一番揺れ動いていて、この年代の自殺が多くなってきているということもあり、様々な少年犯罪についても問題視されている状況もあり、心身の発達と心の健康という内容については、男子にも女子にも、しっかりと理解をしてもらわなければならない内容だと思います。

ところで、教科書の調査、選定に際しては、教員が使う指導書はあるのでしょうか。

【代表調査員】

調査、選定の段階で指導書を見ることはできません。

【委員】

私個人の意見としましては、教科書の内容と指導書の内容を併せて確認していく方が良いと思いました。心の問題や自己形成の問題等、教員の伝え方次第で、生徒によっては内容の捉え方が変わったりすることが考えられます。算数の $1+1=2$ 、このことについては、これ以上の受け止め方はありませんが、今言った問題は、思春期真っ只中の子どもが、どう受け止めるのか、個々の受け止め方で、内容によっては深刻な問題に発展することも考えられると思うんです。できたら指導書と併せて教科書の内容確認が可能な採択の方法があれば良いと思いました。これは意見ではなく、私個人の感想です。

【部会長】

指導書については、恐らく3月のぎりぎりにならないと手元に届かないという状況がありまして、今の段階では難しいと思います。しかし、高田委員のご指摘は非常に大事なことで、命の授業や性の授業等も進めていかなければならない状況で、教員の授業展開の仕方、そして個々の生徒の受け止め方への配慮についても重視して各校での取組を進めていただきたいと思います。

【代表調査員】

各校においては、実際に教科書に載っていることに加えて、子どもの実態に応じた内容を教員たちが指導しているとは思いますが。

【委員】

ありがとうございます。

【部会長】

他にご意見いかがでしょうか。

では、保健体育を終わります。ありがとうございました。

残すところ、あと3種目となりました。休憩を取らずに、このまま進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

では、次に技術家庭科に移ります。技術科と家庭科を併せて報告をお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

【代表調査員】

失礼します。私は技術・家庭科の代表調査員を務めております、大阪市立矢田西中学校、校長の松井でございます。よろしくお願いいたします。

まず技術のほうから説明させていただきます。技術は3つの発行者がございます。重点化した観点の6点について調査を進めてまいりましたが、技術は実技の教科ですので、特に「内容の取扱い」について、ものづくり等の技術に関する実践的・体験的な課題を通してより良い社会生活を過ごすための資質・能力の育成について配慮ができていのかどうかについて重きを置いて調査を進めてまいりました。

それでは、順に報告をいたします。

まず、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が、項目1の③、項目2の⑦、項目3の⑤、⑧の4点とさせていただきます。続いて優れている点が項目2の①、項目3の⑥の2点といたしました。また、工夫・配慮を要する点については、紙の質が現行のものより薄く配慮を要するところがございました。他の発行者と比べさせていただいて、理論と実践、実習教材の取りあげ方等、総合的にバランス良くまとめられている特徴が見られました。

次に教育図書についてです。報告書を1枚めくっていただき、報告書の総評欄についてご覧ください。この発行者では、他の発行者と比較して、特に優れているという点はありませんでした。優れている点は、項目1の③、項目2の⑦、項目3の⑥、⑧の4点といたしました。また、工夫・配慮を要する点については、項目2の①、項目3の⑤の2点といたしました。本市の教育振興基本計画との関連性においては、実習や工具の取り扱いに重点が置かれているようで、情報、モラル以外では道徳教育等との関連に具体性が乏しい部分があり、配慮を要するところがございました。

次に開隆堂についての報告です。報告書を1枚めくっていただき、報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は、ほかの2者と比べてございましたが、優れている点として、項目1の③、項目2の①、⑦、項目3の⑤、⑥、⑧の6点といたしました。また、工夫・配慮を要する観点については、重点化した観点ではございませんでしたが、項目1の⑤、項目2の②、項目3の①といたしました。教育図書と同じく、東京書籍と比べて、道徳教育との関連に具体性が乏しく、配慮を要するところがございました。

以上でございます。

【部会長】

引き続き、家庭科について、お願いします。

【代表調査員】

続いて家庭科についてです。家庭科も3つの発行者がごございます。これも同じく重点化した観点の6点について調査を進めてまいりました。家庭科においても実技教科ですので、特に「内容の取扱い」において衣食住等に関する実践的・体験的な活動を通して、より良い社会生活を過ごすための資質・能力の育成について配慮できているかについて重きを置いて調査を進めてまいりました。それでは、順に報告いたします。

まず、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の③、項目2の①、⑦、項目3の⑥、⑧の5点といたしました。また、工夫・配慮を要する点が項目3の⑤といたしました。他の発行者と比べて理論と実践、実習教材の取りあげ方等、この発行者は総合的にバランス良くまとめられているという特徴が見られております。

次に、教育図書についてです。報告書を1枚めくっていただき、報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は、他の発行者と比較してございませんでしたが、優れている点は項目1の③、項目2の⑦、項目3の⑥の3点といたしました。また、工夫・配慮を要する点は項目3の⑤、⑧の2点といたしました。また、重点化された観点ではありませんが、特に工夫を要する点として、項目2の①といたしました。全般的にカラーページが多く、見やすいのですが、他の発行者と比較すると、文字による情報量や、他の教科との連携に関しての記載が少なく、効果的な指導がしにくい構成となっているので工夫を要する、といたしました。最後に、開隆堂についてです。報告書を1枚めくっていただき、報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は他の2者と比較してありませんでしたが、優れている点は、項目1の③、項目2の⑦、項目3の⑧の3点といたしました。また、工夫・配慮を要する点は項目2の①、項目3の⑤、⑥の3点といたしました。この発行者も教育図書と同じく東京書籍と比べて、他の教科との関連、連携等に関しての記載が少なく、効果的な指導がしにくい構成となっているので工夫を要する、といたしました。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

では、技術・家庭の専門調査会として優位性の認められた発行者について、まず技術について理由とともにお願いできますでしょうか。

【代表調査員】

技術につきましては、東京書籍に最も高い優位性が確認され、次に開隆堂に優位性が確認されました。

実際に、木材の加工のページを例に、他の教科書と比べていただきたいと思います。東京書籍は54ページをご覧いただけますでしょうか。開隆堂は71ページ、教育図書は29ページをご覧ください。東京書籍には、両刃のこぎりの説明が各部の名称とともに、切断についても丁寧に説明されています。次に開隆堂を見ていただくと、のこぎりの使い方についての説明はありますが、各部の名称については記載がございません。教育図書については、加工について、工程の説明はありますが、道具の細かい説明には至っていません。技術は実技教科ですので、実習を進めるに当たって、道具の使い方や、工程の説明について、そのページの見やすさ、分かりやすさについては、東京書籍に明らかな優位性がございます。

さらに、各教科書にはQRコードがついており、その内容を見ますと、東京書籍には、左利きののこぎりの使い方動画が取り入れられています。これまでの教科書の写真には、右利きのものが多かったのですが、左利きの子どもにも配慮がされている、ということが、教科書の中ではなく、デジタルコンテンツという補足資料ではありますが、その他のところにも、様々なところで細やかな配慮がされており、優れていたもので、東京書籍に最も高い優位性を確認いたしました。

また、報告書に記載しましたが、東京書籍の全体を通して顕著であった特徴として、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、キャラクターの発言や各編最終ページの振り返り、「資料」等により、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善への配慮が特に優れておりました。説明が丁寧で細やかな配慮がされているところで、生徒間の活動についても工夫がされております。

【部会長】

家庭科については、いかがでしょうか。

【代表調査員】

続いて家庭科も同じく東京書籍に最も高い優位性を確認いたしました。その次に開隆堂に優位性を確認いたしました。こちら、実際に、手の洗い方を例に、他の教科書と比べていただきたいと思います。東京書籍は2ページ、見出しの2ページではなく、本文の2ページ、教育図書は6ページをご覧ください。開隆堂に該当のページはございません。東京書籍の説明は写真を使って、石鹸をつけて泡立てるところから始まっており、記述についても丁寧であることがお分かりいただけたと思います。

また、東京書籍の幼児との関わりを扱った単元では、幼児の観察についてのポイントとして、「表情や行動をよく見て言葉を聞き、気持ちを読み取る」という記載があります。「表情や行動をよく見て」という文言に、説明のきめ細やかな部分がよく表れており、他の教科書の同じ単元を比較しますと、「観察しましょう」や、「目線を合わせましょう」というような記載にとどまっています。「表情や行動をよく見る」ということと、「目線を合わせる」ということでは意味合いが変わってきます。コミュニケーションにおいて、表情から相手の気持ちを読み取るということは非常に基本的なことなのですが、幼児は自分の気持ちを上手に言葉で表現できないので、表情や行動を観察することを押さえている、という点についてきめ細やかな配慮がされております。

また、報告書に記載しましたが、東京書籍の全体を通して顕著であった特徴としては、各編の冒頭に目標が明確に示してあり、キーワードを活用することで実践的、体験的な活動につなげ、「生活と課題と実践」を通して定着させるように工夫されている点が特に優れておりました。

【部会長】

ありがとうございます。

ご意見はいかがでしょうか。

【委員】

学校調査会の東京書籍に対するコメントとして、項目3のところで、「学習指導要領の表記と関連していない」とあるのですが、これはどういうことでしょうか。

【部会長】

専門調査会の調査結果、一番下の特に工夫・配慮を要する点の項目3にも、「学習指導要領の表記の仕方と順序が連動していない」というのがあります。同じ指摘なのかも知れませんね。

【代表調査員】

学習指導要領において、家庭分野の内容として「A家族・家庭生活」、「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」という項目に分かれております。各発行者の目次を見ていただきますと、開隆堂と教育図書については、AからCの項目順に沿って、学習が展開されていくのですが、東京書籍は、B、C、Aの順で展開されていることや、内容についての表記が学習指導要領と連動していないところがある、ということでございます。

【委員】

保育大学なので、ついこだわってしまうのですが、幼児との関わりのところについて、開隆堂と教育図書については、教科書の最初のほうから始まっていきます。ところが東京書籍は最後の方での取り扱いとなっています。この順番の違いが、今ご説明いただいたことなんですね。我々としては、中学生における幼児との関わり等、人の心に関わる部分について、次の学習指導要領、幼稚園教育要領と保育所保育指針を踏まえて、非常に重要な課題として取り組んでおります。これに関しては、虐待の問題やいじめの問題等にもつながっていくことで、注力して取り組むべき問題であると考えているのですが、なぜ発行者によって順番が違うのでしょうか。

【代表調査員】

実際に中学校で家庭科の実習等を進めていくに際して、1年生の始めに保育の実習に行くということはなかなか難しい、という現状があります。東京書籍で言いますと、始めに衣食住の学習に入って、生徒の発達段階に応じて適切な時期、3年生になって、実際に保育所へ実習に行くという流れで、東京書籍はこのように構成したのではないかと考えております。発行者によって内容の扱いに順番が違うことで、内容の重要性に差をつけている、ということはありません。現場の意見としては、教科書に沿って学習を進めていく際、できるだけ前から順番に進めていきたい、という声はございます。

【委員】

教科書について、内容の扱いについては順番が変わってもよいのか、学習指導要領通りの枠組みでいくべきなのか、という大阪市としての方針は何かあるのでしょうか。ある程度自由な裁量があるのでしょうか。

【代表調査員】

大阪市として、内容の扱いの順番についての方針や指針等はございません。その点においては、発行者の構成について、どのような教科書を選ぶかということにおいては、ある程度自由な裁量があると言ってよいと思います。

【委員】

ありがとうございます。分かりました。

【部会長】

他にはよろしいでしょうか。

では、技術・家庭は終わります。ありがとうございました。

あと2種目になります。

続いて、英語に移りたいと思います。63ページになります。

よろしく願いいたします。

【代表調査員】

失礼します。私は英語の代表調査員を務めます、大阪市立瓜破中学校、校長の武井でございます。よろしくお願いいたします。

英語は6つの発行者がございます。それでは、順にご報告させていただきます。

まず東京書籍でございます。報告書の総評欄をご覧ください。東京書籍の特に優れている点が項目2の①です。優れている点が項目1の③、項目2の⑥、項目3の⑤、⑥、⑧といたしました。お手元の教科書、2年生を例に挙げさせていただきます。118ページをご覧ください。この東京書籍の教科書には、「Stage Activity」という単元がございます、この単元は各学年、それぞれ「STEP 1」、「STEP 2」、「STEP 3」とありますが、それぞれの「STEP」で「読む」「聞く」「書く」「話す」という4つの技能を段階的に学習でき、外国語におけるコミュニケーションを図る資質・能力を育成できるよう配慮された構成が特に優れております。

次に開隆堂です。特に優れている点が項目1の③、優れている観点が項目2の①、⑥、項目3の⑤、⑥、⑧といたしました。お手元の教科書、2年生の38ページをご覧ください。各学年ともに、この「Steps」という単元がございます。この単元につきましては、学年を追うごとに簡単なやり取りから3年生の一番最後では、グループディスカッションをできるように活動が設定されており、主体的で深い学びの実現に配慮され、段階的な構成となっております。ただし、「書く」技能を扱う単元につきましては、モデル文を活用できる流れになっていないため、実際のコミュニケーションとして活用できる技能を身に付ける点で工夫を要するところがございます。

次に三省堂です。特に優れている点が項目1の③、優れている点が項目2の①、⑥、項目3の⑤、⑥、⑧といたしました。また工夫・配慮を要する点が項目2の⑥とさせていただいております。お手元の教科書、2年生の78ページをご覧ください。このページについては「読む」技能、次の80ページでは「書く」技能というように、各学年の単元の配列が効果的であり、主体的・対話的で深い学びの実現に配慮された構成となっております。

続いて、教育出版です。特に優れている点はありませんでした。優れている点が項目1の③、項目2の①、項目3の⑥、⑧とさせていただきました。また工夫・配慮を要する点が項目2の⑥、項目3の⑤とさせていただきました。教育出版につきましては、各ユニットのグループワーク、ペアワークの活動が少ない構成となっております、工夫を要するところがございます。

次に光村図書です。特に優れている点はありませんでした。優れている点が項目1の③、項目2の①、⑤、項目3の⑥、⑧とさせていただきました。また工夫・配慮を要する点が項目3の⑤とさせていただきました。光村図書につきましては、全学年を通して取りあげられている地域に偏りが見られること、教科横断的な内容に乏しいことに工夫を要するところがございます。

最後に、啓林館です。特に優れている点はありませんでした。優れている点が項目1の③、項目2の①、⑥、項目3の⑥とさせていただきました。工夫・配慮を要する点が項目3の⑤、⑧とさせていただきました。啓林館につきましては、光村図書と同じく教科横断的な内容に乏しいこと、また巻末の付録資料について、文字のフォントが小さく、文字ばかりで構成されており、工夫を要するところがございます。

以上の結果から、本専門調査会では、東京書籍、それから開隆堂、三省堂に優位性があるとし、その3者について、さらに調査を進めました。その中で、東京書籍の目次をご覧ください。再び、2年生の教科書の2ページ、3ページの目次をご覧ください。3者の中では、この東京書籍の目次にだけ見られる特徴としまして、各単元で学習する文法事項やキーセンテンス、活動目標等が分かりやすく整理され、一目見て分かる構成となっております。

さらに、全体を通じた特徴としまして、各単元の構成についても、東京書籍の2年生の教科書の57ページをご覧ください。単元の扉のページを見ても学習のゴールやポイントについて、内容がよく分かるような構成となっており、1ページめくっていただいて58ページの、「Preview」というところで、まず大体的内容を掴むために「聞く」活動を設定し、それから「Scene」というところで詳細な内容を学び、「Mini Activity」というところでペアワークやグループワークを設定する、という構成になっております。生徒の発達段階に応じた内容が厳選され、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」の4技能を段階的に学習できる点について、他者より優れているところがございます。

また、内容におきまして、2年生で「Food Travels around the World」で家庭科、3年生で「Haiku in English」で国語科、それから同じく3年生で「A Legacy for Peace」で社会科と、教科横断的な内容についても扱い、本調査会では、東京書籍に最も優位性が確認されたところがございます。次いで三省堂と開隆堂については優位性に差はなし、という結論に達しました。

報告は以上でございます。

【部会長】

ありがとうございました。

では、ご意見やご質問はいかがでしょうか。

【委員】

個人的には、3年生のときにスティーブ・ジョブズのスピーチで、「Stay Hungry. Stay Foolish.」、これを学んで卒業すると良いと思いましたので、調査結果には賛成いたします。サイズが大きいです、ブリティッシュ・カウンシル等の教材もこのくらい大きさなので、そんなに違和感を覚えなかったですね。

【部会長】

他にご意見はいかがですか。よろしいでしょうか。

では、英語を終わります。ありがとうございました。

続いて、最後の種目、道徳に移ります。69ページになります。

それでは、お願いいたします。

【代表調査員】

失礼いたします。私は道徳の代表調査員を務めます、大阪市立文の里中学校、校長の土肥と申します。道徳は7つの発行者があります。それでは、順に報告いたします。

まずは東京書籍株式会社についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点はありませんが、優れている点は項目1の③、項目2の①、項目3の⑤、項目3の⑥、項目3の⑧といたしました。

また、工夫・配慮を要する点は項目2の⑥といたしました。

次に、教育出版株式会社についてです。報告書を1ページめくってください。報告書の総評欄をご覧ください。

この発行者の特に優れている点はありませんが、優れている点は項目2の①、項目3の⑥、⑧といたしました。

また、工夫・配慮を要する点は項目1の③、項目2の⑥、項目3の⑤といたしました。

次に光村図書出版株式会社についてです。報告書を1ページめくってください。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が、項目2の①、⑥、優れている点は項目1の③といたしました。また、

工夫・配慮を要する点は項目3の⑤、⑥、⑧といたしました。

次に日本文教出版株式会社についてです。報告書を1ページめくってください。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が、項目2の①、優れている点は項目1の③、項目3の⑤、⑥といたしました。また、工夫・配慮を要する点は項目2の⑥、項目3の⑧といたしました。中でも、別冊の「道徳ノート」は、1教材1ページで構成されており、友達の意見を記入する欄が設けられているため、多角的・多面的に考えられるようになっています。また、小学校の「道徳ノート」と構成を共通にすることで、9年間の一貫した道徳科の学習が実現でき、心の成長を記録することができます。

次に株式会社学研教育みらいについてです。報告書を1ページめくってください。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点はありませんが、優れている点は項目1の③、項目2の①、項目3の⑤、⑥といたしました。また、工夫・配慮を要する点は項目2の⑥、項目3の⑧といたしました。

次に、廣済堂あかつき株式会社についてです。報告書を1ページめくってください。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が、項目1の③、項目2の①、項目3の⑤、⑥、優れている点は項目2の⑥、項目3の⑧といたしました。また特に工夫・配慮を要する点はありません。中でも人間の良さやすばらしさが心に染みる精選された教材と、生命尊重やいじめ防止等の現代的な課題と向き合う教材をバランスよく配置し、ともに考え、話し合うことにより豊かな自己の形成を導く構成となっています。加えて、大阪市立中学校教育研究会道徳部が発行し、広く活用されている読み物教材「道徳科教科書指導要点集」は、廣済堂あかつきの全学年の全教材に対応したものとなっております。

次に、日本教科書株式会社についてです。報告書を1ページめくってください。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点はありませんが、優れている点は項目2の⑥、項目3の⑧といたしました。

また、工夫・配慮を要する点は項目1の③、項目2の①、項目3の⑤、⑥といたしました。

以上でございます。

【部会長】

ありがとうございます。

では、道徳の専門調査会として優位性の認められた発行者について、理由とともにお願いできますでしょうか。

【代表調査員】

道徳におきましては、学校調査会、専門調査会ともに、廣済堂あかつきと日本文教出版の2者に優位性を確認いたしました。特に廣済堂あかつきにつきましては、各単元末に「考える・話し合う」を設け、生徒の主体的・対話的な学びを促す工夫がされ、さらに「考えを広げる・深める」の活動は、学習内容について、授業内にとどまらず、授業外においても周りの友人や家族とも語り合うことができる工夫がされており、特に優れております。また、先ほど申しあげたことと重なりますが、やはり使いやすさとバランスの良さにも、大きな特徴がございます。心に染みる精選された教材と、現代的な課題に向き合う教材が、バランス良く配置されているところが優れております。

【部会長】

では、ご意見をお願いします。

【委員】

今優位性について説明がございましたが、日本文教出版さんには、教材として、心に染みるような内容があま

りなかったのでしょうか。

【代表調査員】

いえ、内容について、大きな差異があるというわけではないのですが、日本文教出版と比べますと、廣濟堂あかつきの方が教材の配置、構成に優位性があったということでございます。

【委員】

教材として、心に染みるということを優位性として挙げておられましたが、その点については日本文教出版はあかつきと比べて、あまり遜色がなかったと理解してもよろしいのでしょうか。

【代表調査員】

そうですね。内容については大きな差異はございません。

【部会長】

他はいかがですか。

【委員】

私は道徳に長く関わらせていただいているのですが、やはり廣濟堂あかつきさんについては、実体験として、子ども自身が振り返ることができる内容が多いなと思っています。また、文字の大きさについても特徴があると思います。他者、例えば日本文教出版さんと比べても、文字が大きいので、大阪の子どもはやはり文字を読むことに課題があるということを知っています。文字が小さくて読みにくい、ということ回避することも大事だと思いますので、廣濟堂あかつきさんがいいと私は思います。

【部会長】

他はいかがでしょうか。

【委員】

あかつきさんが優れているということについては賛同しますが、教育出版さんの取り扱っている内容に、1年生の教科書、26ページに「不自然な独り言」というものがありまして、「『思いやり』とはどのようなものだろう。」ということについて学習します。また、34ページには、北海道の植松努さんの「『どうせ無理』をなくしたい」というものがありまして、「やる前から『どうせ無理』だと諦めてしまったことがあるだろうか。」ということについて学習します。教材の核になる部分の問いかけや、取り扱っている内容はすばらしいと思いました。ルールとマナーの違いについて考えさせたり、何気ない日常のやり取りの中にもルールとマナーが必要だということについて考えたり、そういうことが分かりやすくポイントを押さえていて、あなたならどうしますか、ということについても、理由を考えさせて、それをさらにグループセッションに落とし込む工夫があります。いじめに関しても扱っていますし、私は教育出版も推したいと思います。

【部会長】

ご意見ありがとうございます。

他はいかがでしょうか。

では、私からですが、大阪市では、今あかつきの教科書を使っていますが、先ほど心に染みる教材があるという報告がありました。先ほど、別の種目の報告での高田委員からのご指摘と関連して、あかつきの教科書には、人が亡くなる、または亡くなった後の教材が多くあります。このような教材については、慎重に扱うべきものであり、その扱いについては教員の力量による影響といえますか、子どもの受け取り方にも様々あり、そこに対して配慮しながら、道徳教育をどう実践していくかについて考えることは、非常に大事だと思います。今の中学校の道徳の教科書については、道徳の研究部のほうで、指導要点集を作成している、とありましたが、指導に際して共通理解のもと実践できるための手立てが必要ではないかと思っております。

他に、ご意見はございませんか。

では、道徳を終わりたいと思います。ありがとうございました。

【部会長】

全ての種目が終了いたしました。長時間に渡るご審議をありがとうございました。

専門調査会の報告時間内に発言できなかったご意見やご質問等、最後に何かございませんでしょうか。

【委員】

優位性について、最も高い優位性が認められた発行者について、1者ではない種目があったと思うのですが。

【部会長】

ご指摘につきましては、本日いただいたご意見を踏まえ、再度、各専門調査会で調査していただき、次回ご審議いただきたいと思います。

本日のご審議を踏まえまして、次回、第3回地区部会に向けて、事務局の方で、「専門調査会報告」を基に「答申資料原案」を作成していただきます。「答申資料原案」作成の過程で、塩屋委員のご指摘については、事務局が専門調査会と調整したうえで、原案としてご提案させていただきます。

皆さまのお手元の資料、「答申資料（案）」をご覧くださいませでしょうか。こちらは答申資料のひな形となっております。次回、事務局より、このような形で原案をご提案させていただきます。ご確認ください。

今回は、原案を基に、最終的な答申の取りまとめを行いたいと思っております。よろしいでしょうか。

委員の皆さまのなかで、メモ用紙をご使用いただいた方がおられましたら、事務局にメモをご提出いただきますよう、お願いいたします。

最後に、事務局より事務連絡があります。では、連絡をお願いいたします。

【事務局】

失礼いたします。長時間のご審議、ありがとうございました。

事務連絡を3点させていただきます。

まず、1点目は、提出物についての連絡でございます。前回、選定委員の本市職員以外の皆様には「口座振替申出書」「お通帳の写し」「マイナンバー提供用紙」の提出をお願いしておりました。このあと集めに回らせていただきますので、ご提出いただきますよう、お願いいたします。また、事務局以外の本市職員の皆さま、つまり、校長先生方も、本日「口座振替申出書」と「お通帳の写し」をご提出ください。なお、前回お配りしました「交通費請求明細書」のほうにつきましては、次回最終の選定委員会時にご提出いただきますよう、お願いいたします。

2点目は、次回の確認です。

次回は、来週7月28日、火曜日、13時より、場所は、本日と同じくこの場所、大阪市教育センターの5階、講義室となっております。

最後に、本日机上に準備させていただきました資料につきましては、お名前のシールを貼ってある封筒にそのままお入れ置きください。次回に、改めて配付させていただきます。以上でございます。

【部会長】

それでは、以上をもちまして、第2回教科用図書選定委員会、第4地区部会を終了いたします。

長時間に渡るご審議、ありがとうございました。

来週もどうぞよろしく願いいたします。